

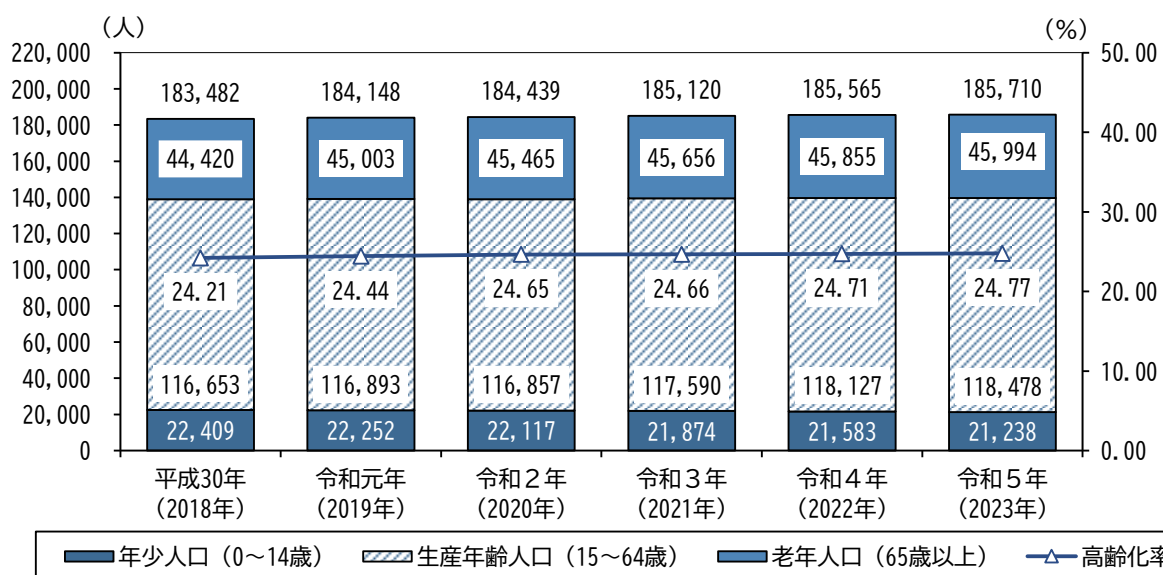
## 第2章 高齢者を取り巻く現状と課題

### 第1節 立川市の高齢者の状況

#### 1 人口の推移

本市の人口は平成30（2018）年より増加傾向で推移しており、令和5（2023）年は185,710人となっています。また、65歳以上の高齢者の人口についても増加傾向で推移しており、令和5（2023）年は45,994人で、総人口に占める65歳以上人口の割合（高齢化率）は24.77%となっています。

年齢3区分別人口の推移



(単位：人、%)

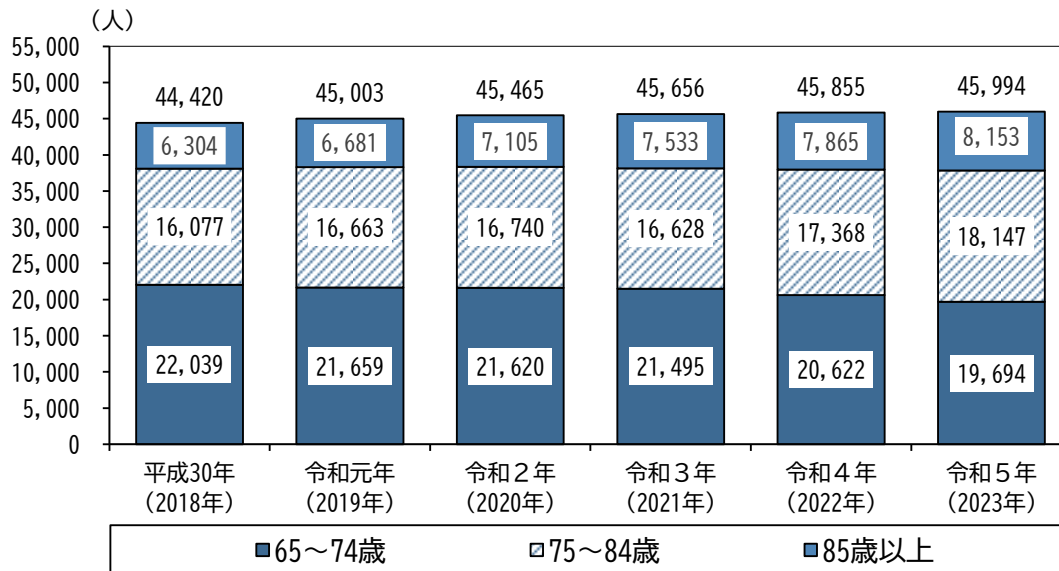
	平成30年 (2018年)	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)
総人口	183,482	184,148	184,439	185,120	185,565	185,710
年少人口 (0~14歳)	22,409	22,252	22,117	21,874	21,583	21,238
生産年齢人口 (15~64歳)	116,653	116,893	116,857	117,590	118,127	118,478
老年人口 (65歳以上)	44,420	45,003	45,465	45,656	45,855	45,994
高齢化率	24.21	24.44	24.65	24.66	24.71	24.77
高齢化率 (東京都)	23.1	23.1	22.7	22.9	22.8	-
高齢化率 (全国)	28.1	28.4	28.8	28.9	29.0	29.1

資料：立川市は住民基本台帳（各年10月1日現在）、東京都・全国は平成30年、令和元年、令和3年～令和5年は総務省「人口推計」（各年10月1日現在人口）、令和2年は総務省「国勢調査」（令和6年4月1日現在、東京都の令和5年の高齢化率は未発表）

## 2 高齢者人口の推移

本市の65歳以上の高齢者の人口について年齢階級別で見ると、65～74歳は減少傾向で推移しているのに対し、75～84歳、85歳以上は増加傾向で推移しており、令和5（2023）年における総人口に占める85歳以上人口の割合は4.4%となっています。

高齢者人口の推移



(単位：人、%)

	平成30年 (2018年)	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)
総人口	183,482	184,148	184,439	185,120	185,565	185,710
高齢者人口(65歳以上)	44,420	45,003	45,465	45,656	45,855	45,994
	24.2	24.4	24.7	24.7	24.7	24.8
65～74歳	22,039	21,659	21,620	21,495	20,622	19,694
	12.0	11.8	11.7	11.6	11.1	10.6
75～84歳	16,077	16,663	16,740	16,628	17,368	18,147
	8.8	9.0	9.1	9.0	9.4	9.8
85歳以上	6,304	6,681	7,105	7,533	7,865	8,153
	3.4	3.6	3.9	4.1	4.2	4.4

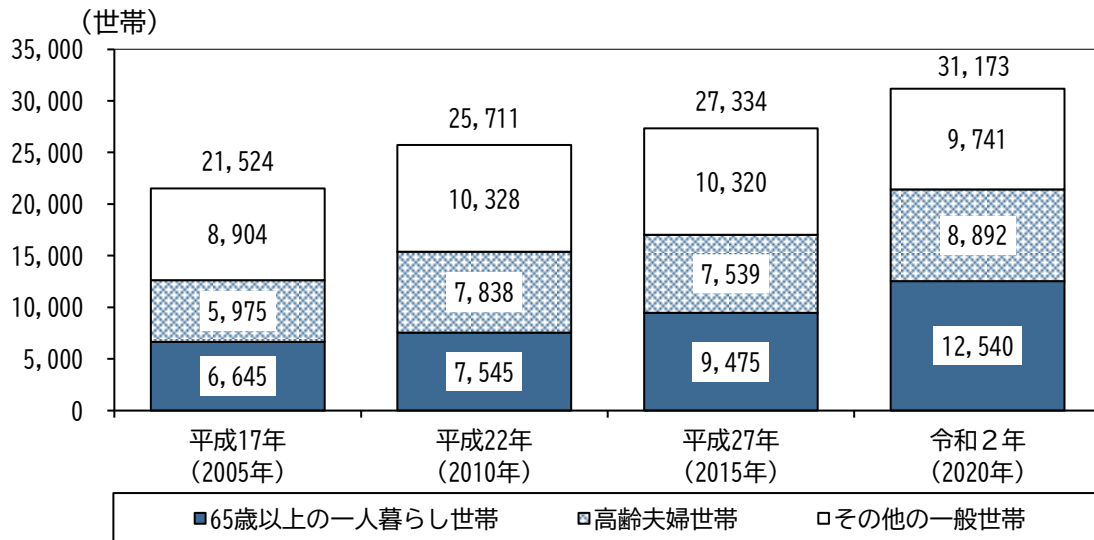
※ 下段は総人口に占める割合

資料：住民基本台帳（各年10月1日現在）

### 3 高齢者世帯の状況

本市の65歳以上の高齢者がいる世帯数は年々増加し、特に65歳以上の一人暮らし世帯数の増加が著しく、令和2（2020）年では12,540世帯で、一般世帯数に占める割合は14.0%となっています。

65歳以上世帯員がいる一般世帯数の推移



※高齢夫婦世帯は夫が65歳以上で、かつ妻が60歳以上の夫婦のみの世帯

(単位：世帯、%)

	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	令和2年 (2020年)
一般世帯総数	74,648	80,805	83,188	89,599
高齢者がいる一般世帯	21,524	25,711	27,334	31,173
	28.8	31.8	32.9	34.8
65歳以上の一人暮らし世帯	6,645	7,545	9,475	12,540
	8.9	9.3	11.4	14.0
うち75歳以上	2,598	3,723	4,892	7,422
	3.5	4.6	5.9	8.3
うち85歳以上	485	841	1,222	2,674
	0.6	1.0	1.5	3.0
高齢夫婦世帯	5,975	7,838	7,539	8,892
	8.0	9.7	9.1	9.9
その他の一般世帯	8,904	10,328	10,320	9,741
	11.9	12.8	12.4	10.9

※ 下段は一般世帯総数に占める割合

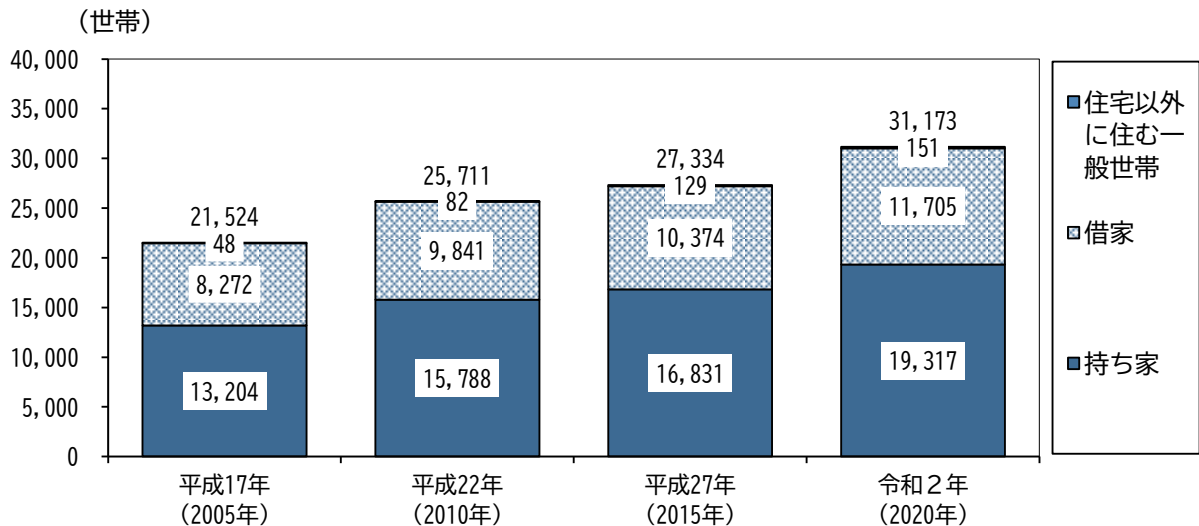
資料：総務省「国勢調査」

## 4 高齢者世帯の住まいの状況

本市の65歳以上の高齢者がいる世帯の住まいの状況について、令和2（2020）年における「持ち家」は19,317世帯で、高齢者がいる一般世帯に占める割合は62.0%となっています。

一方、令和2（2020）年における「借家」は11,705世帯で、そのうち「公営・都市再生機構・公社の借家」が約半数を占めており6,602世帯となっています。

高齢者世帯の住まいの状況



(単位：世帯、%)

	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	令和2年 (2020年)
高齢者がいる一般世帯	21,524	25,711	27,334	31,173
持ち家	13,204	15,788	16,831	19,317
	61.3	61.4	61.6	62.0
借家	8,272	9,841	10,374	11,705
	38.4	38.3	38.0	37.5
公営・都市再生機構・公社の借家	4,814	5,915	5,940	6,602
	22.4	23.0	21.7	21.2
民営の借家	3,274	3,673	4,256	4,370
	15.2	14.3	15.6	14.0
給与住宅	60	99	42	58
	0.3	0.4	0.2	0.2
間借り	124	154	136	675
	0.6	0.6	0.5	2.2
住宅以外に住む一般世帯	48	82	129	151
	0.2	0.3	0.5	0.5

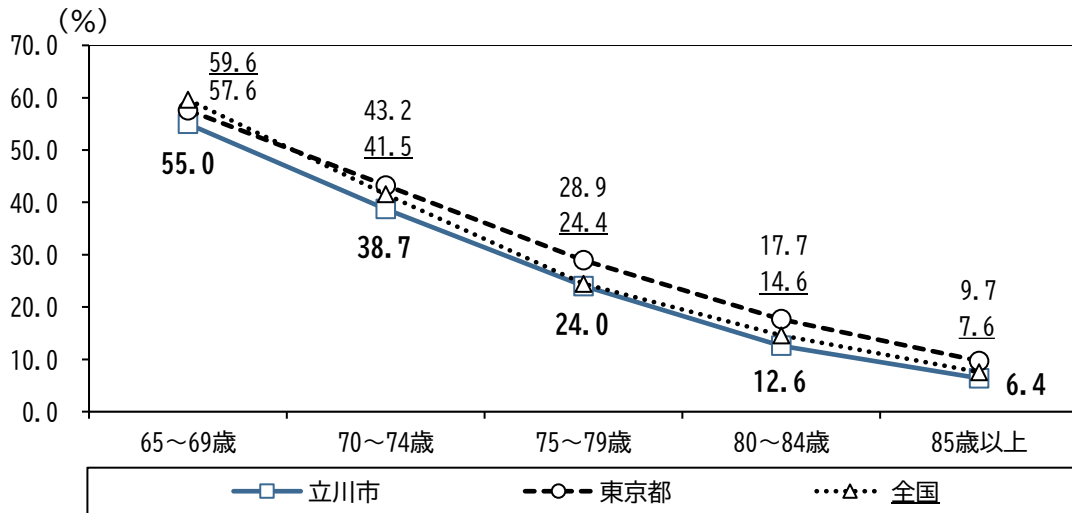
※ 下段は高齢者がいる一般世帯に占める割合

資料：総務省「国勢調査」

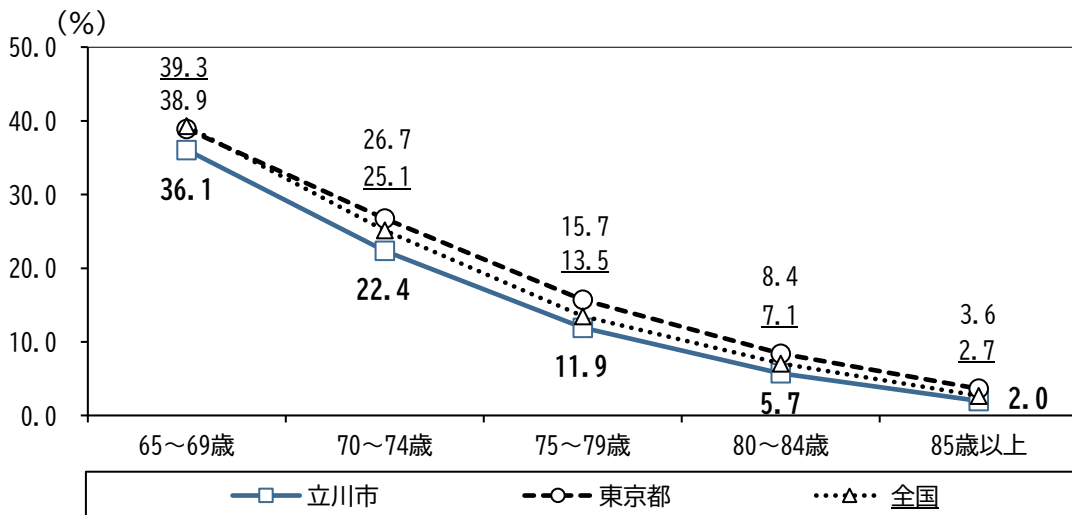
## 5 高齢者の就業状況

本市の令和2（2020）年における労働力率（人口に占める労働力人口（就業者と完全失業者）の割合）を性別で見ると、男性・女性いずれもすべての年齢階級において東京都・全国より割合が低くなっています。

年齢階級別労働力率 男性（令和2年）



年齢階級別労働力率 女性（令和2年）

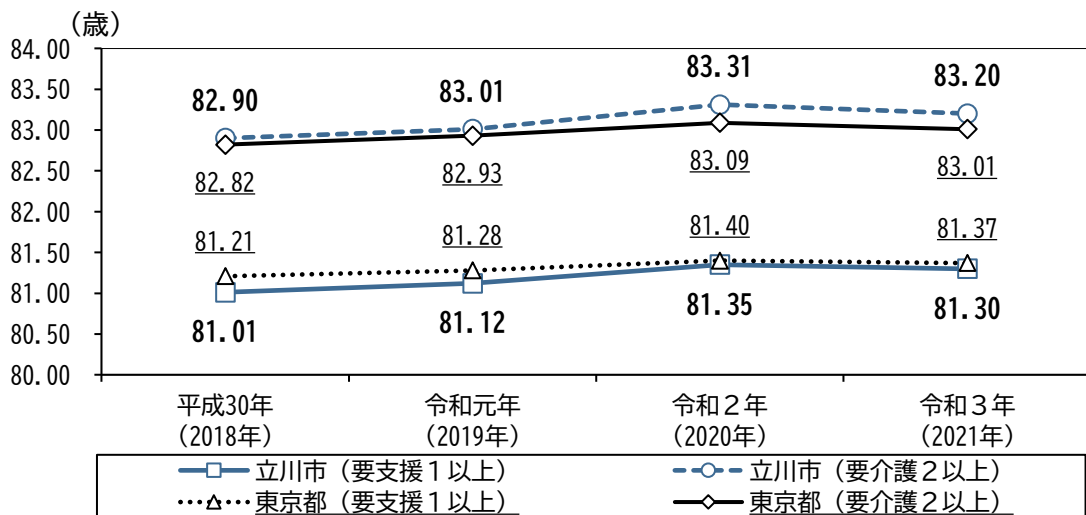


資料：総務省「令和2年国勢調査」

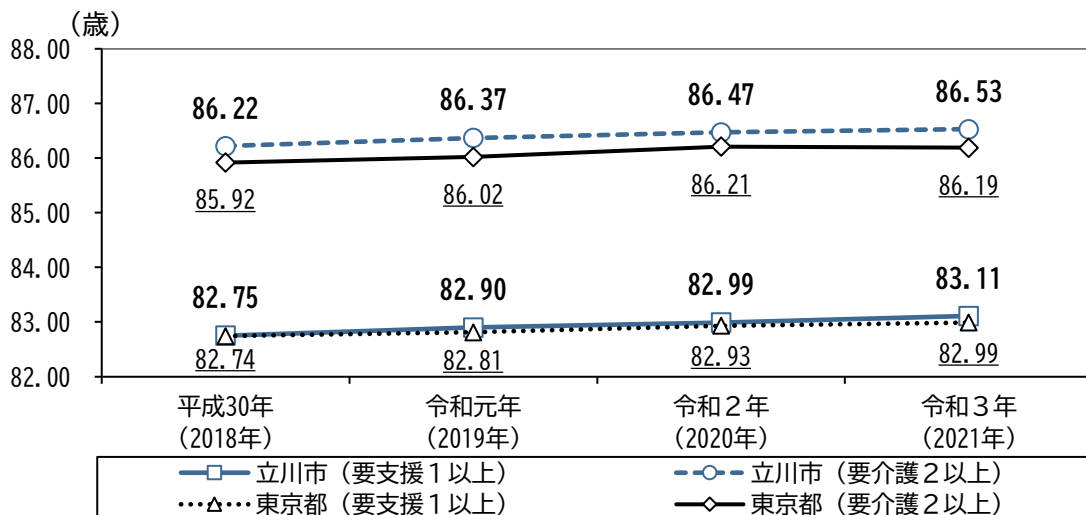
## 6 65歳健康寿命

本市の65歳健康寿命（65歳の人が何らかの障害のために日常生活動作が制限されるまでの年齢を平均的に表したもの）について、65歳健康寿命（要介護2以上）（65歳の人が必要介護2以上の認定を受けるまでの状態を「健康」と考え、その認定を受けた年齢を平均的に表したもの）では、男性、女性いずれも東京都の平均より高く推移しており、令和3（2021）年では、男性が83.20歳、女性が86.53歳となっています。

### 65歳健康寿命の推移 男性



### 65歳健康寿命の推移 女性

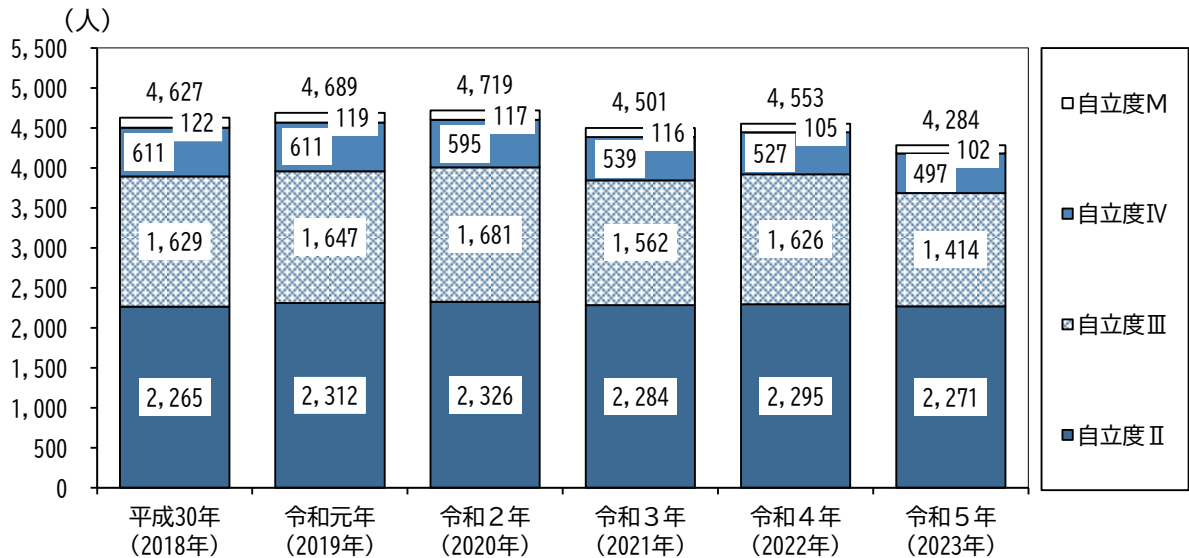


資料：東京都福祉保健局「都内各区市町村の65歳健康寿命」

## 7 認知症高齢者の状況

本市の認知症の高齢者について、「日常生活自立度\*Ⅱ」以上と認定された方は、増減を繰り返しながら推移しており、令和5（2023）年10月1日現在で4,284人となっており、第1号被保険者\*数に占める割合は9.48%となっています。

認知症高齢者数（日常生活自立度Ⅱ以上）の推移



資料：要介護・要支援認定主治医意見書（各年10月1日現在）

認知症高齢者の日常生活自立度

ランク	判定基準
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内および社会的にほぼ自立している。
II	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。
II a	家庭外で上記IIの状態が見られる。
II b	家庭内でも上記IIの状態が見られる。
III	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さがときどき見られ、介護を必要とする。
III a	日中を中心として上記IIIの状態が見られる。
III b	夜間を中心として上記IIIの状態が見られる。
IV	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。
M	著しい精神症状や問題行動あるいは、重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。

## 認知症高齢者数（日常生活自立度Ⅱ以上）の推移

（単位：人、％）

	平成30年 (2018年)	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)
第1号被保険者数	44,146	44,566	44,922	45,044	45,146	45,185
要介護・要支援認定者数 (第1号被保険者)	8,191	8,423	8,546	8,743	8,900	8,992
	18.55	18.90	19.02	19.41	19.71	19.90
日常生活自立度Ⅱ以上の 認定者数	4,627	4,689	4,719	4,501	4,553	4,284
	10.48	10.52	10.50	9.99	10.09	9.48
自立度Ⅱ	2,265	2,312	2,326	2,284	2,295	2,271
	5.13	5.19	5.18	5.07	5.08	5.03
自立度Ⅲ	1,629	1,647	1,681	1,562	1,626	1,414
	3.69	3.70	3.74	3.47	3.60	3.13
自立度Ⅳ	611	611	595	539	527	497
	1.38	1.37	1.32	1.20	1.17	1.10
自立度M	122	119	117	116	105	102
	0.28	0.27	0.26	0.26	0.23	0.23

※ 下段は第1号被保険者に占める割合

※ 第1号被保険者数および日常生活自立度の認定者数は、他市町村に住民登録がある住所地特例\*者を含む

資料：要介護・要支援認定主治医意見書（各年10月1日現在）、厚生労働省「介護保険事業状況報告」（各年9月月報）



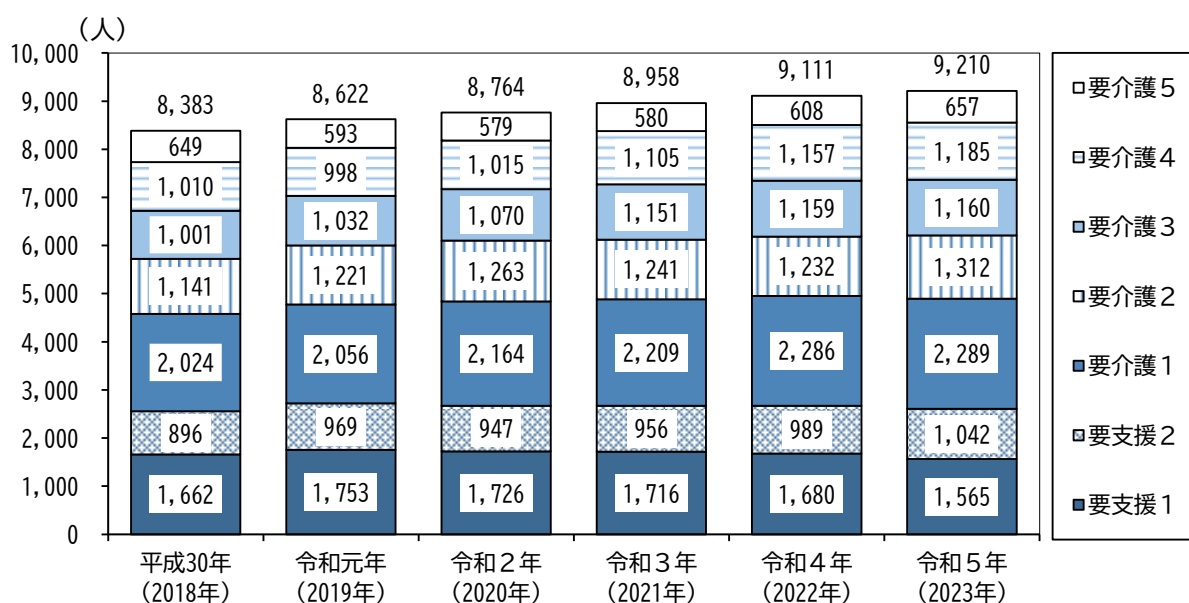
## 第2節 要介護・要支援認定者等の状況

### 1 要介護・要支援認定者数

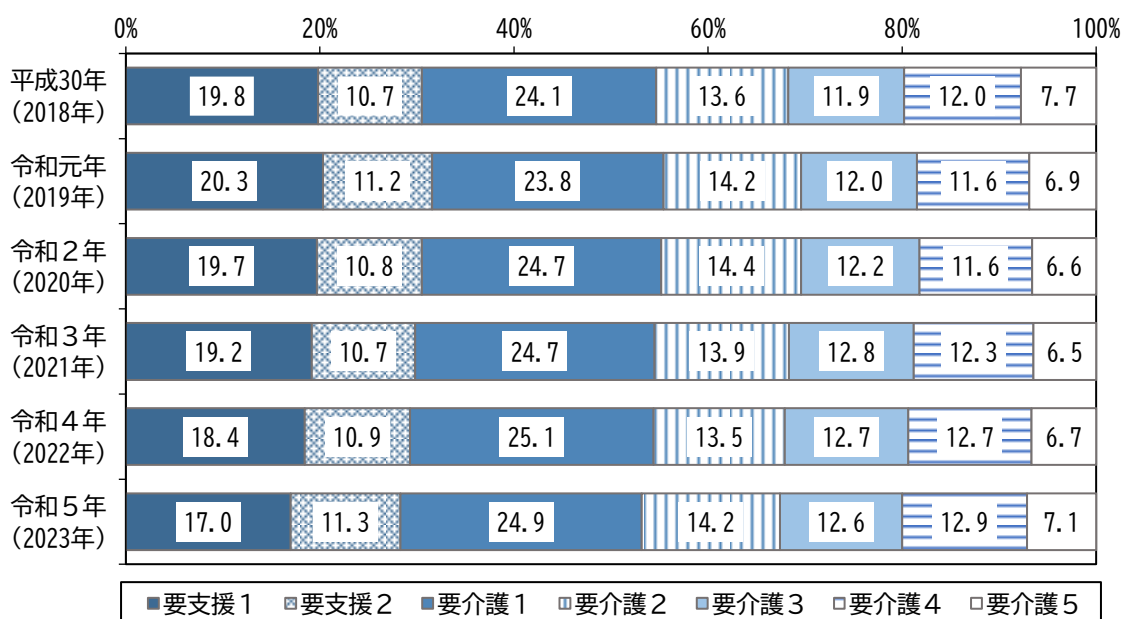
本市の要介護・要支援認定者数は増加傾向で推移しており、令和5（2023）年は9,210人となっています。

また、本市の令和4（2022）年における要介護・要支援認定者の構成比は、東京都・全国と比べて、要支援1および要介護1の割合が高くなっています。

要介護・要支援認定者数の推移

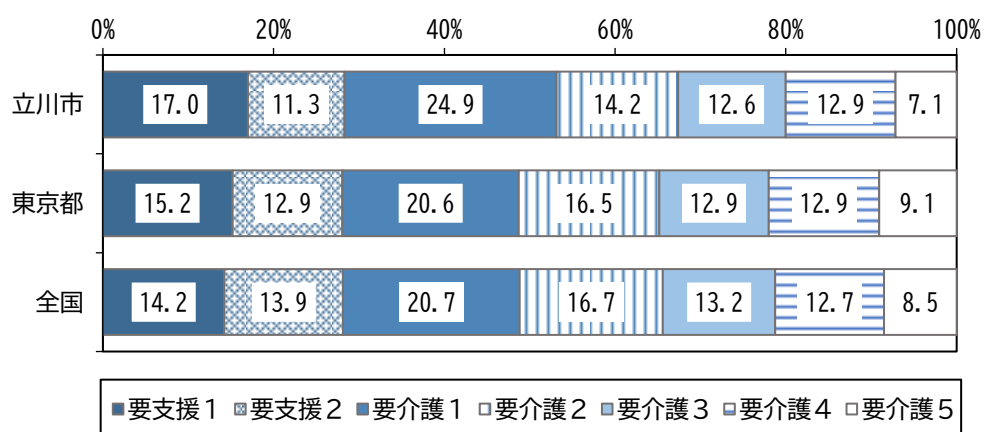


要介護・要支援認定者構成比の推移



資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告」（各年9月月報）

### 要介護・要支援認定者構成比の比較（令和5年9月末）



資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告」（令和5年9月月報）

### 要介護・要支援認定者数の推移

（単位：人、％）

	平成30年 (2018年)	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)
要介護・要支援認定者数	8,383	8,622	8,764	8,958	9,111	9,210
要支援1	1,662	1,753	1,726	1,716	1,680	1,565
	19.8	20.3	19.7	19.2	18.4	17.0
要支援2	896	969	947	956	989	1,042
	10.7	11.2	10.8	10.7	10.9	11.3
要介護1	2,024	2,056	2,164	2,209	2,286	2,289
	24.1	23.8	24.7	24.7	25.1	24.9
要介護2	1,141	1,221	1,263	1,241	1,232	1,312
	13.6	14.2	14.4	13.9	13.5	14.2
要介護3	1,001	1,032	1,070	1,151	1,159	1,160
	11.9	12.0	12.2	12.8	12.7	12.6
要介護4	1,010	998	1,015	1,105	1,157	1,185
	12.0	11.6	11.6	12.3	12.7	12.9
要介護5	649	593	579	580	608	657
	7.7	6.9	6.6	6.5	6.7	7.1

※ 下段は要介護・要支援認定者数に占める割合

資料：介護保険事業状況報告（各年9月月報）

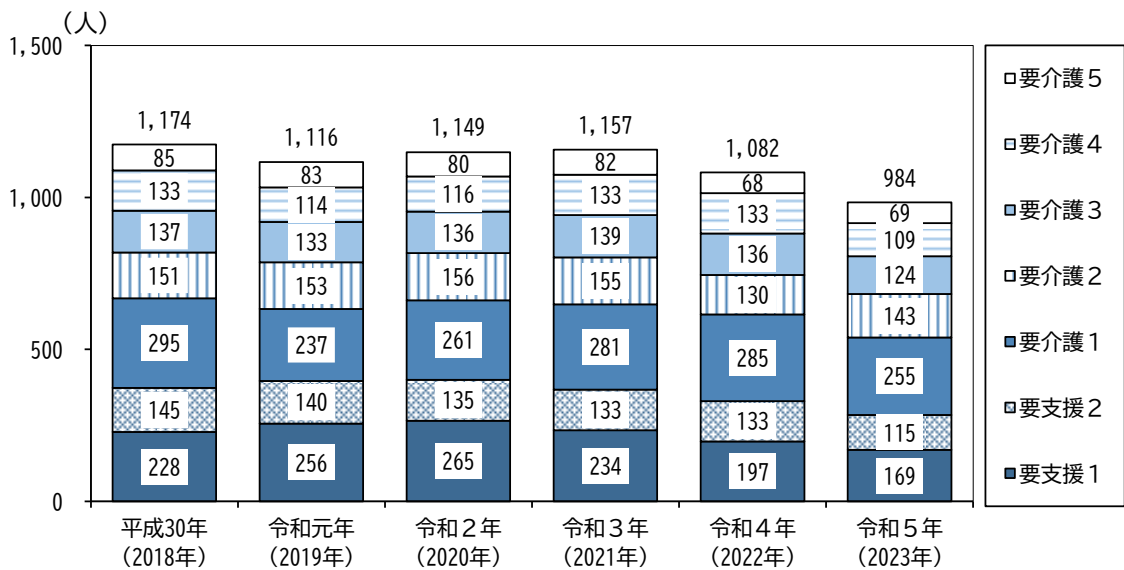
## 2 年齢階級別にみる要介護・要支援認定者数

### (1) 65～74 歳

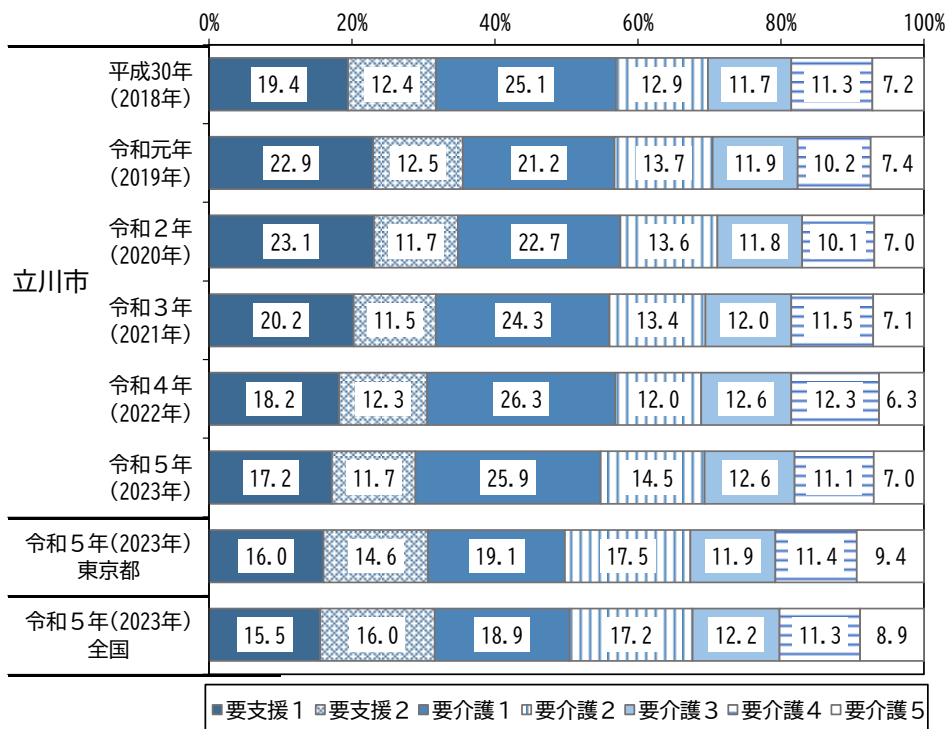
65～74 歳における要介護・要支援認定者数については、増減を繰り返しながら推移しており、令和5（2022）年は984人となっています。

また、令和5（2023）年の要介護・要支援認定者の構成比は、要介護1が25.9%で最も多く、次いで要支援1が17.2%と続いており、要支援1、要介護1いずれも東京都、全国よりも割合が高くなっています。

要介護・要支援認定者数の推移（65～74 歳）



要介護・要支援認定者構成比の推移（65～74 歳）



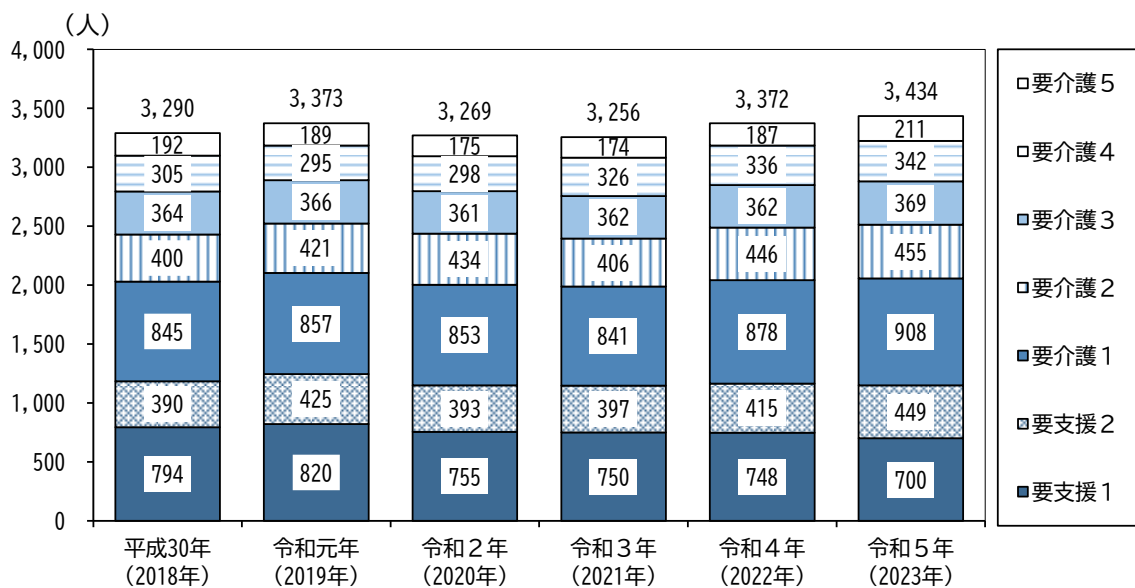
資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告」（各年9月月報）

## (2) 75～84 歳

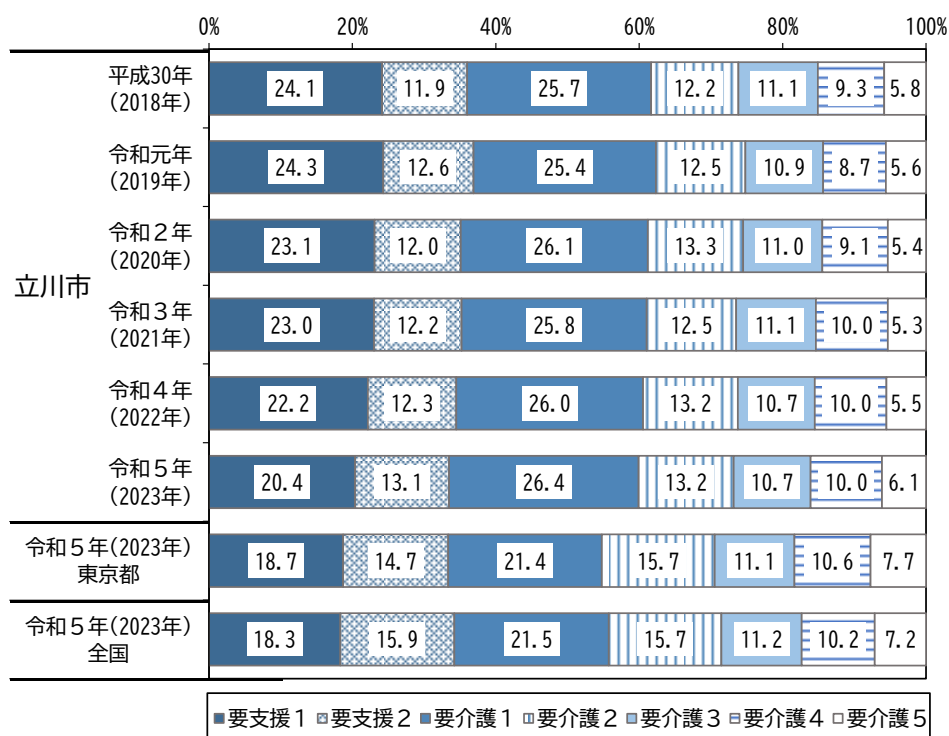
75～84 歳における要介護・要支援認定者数については、増減を繰り返しながら推移しており、令和 5（2023）年は 3,434 人となっています。

また、令和 5（2023）年の要介護・要支援認定者の構成比は、要介護 1 が 26.4% で最も多く、次いで要支援 1 が 20.4% と続いており、要支援 1、要介護 1 いずれも東京都、全国よりも割合が高くなっています。

### 要介護・要支援認定者数の推移（75～84 歳）



### 要介護・要支援認定者構成比の推移（75～84 歳）



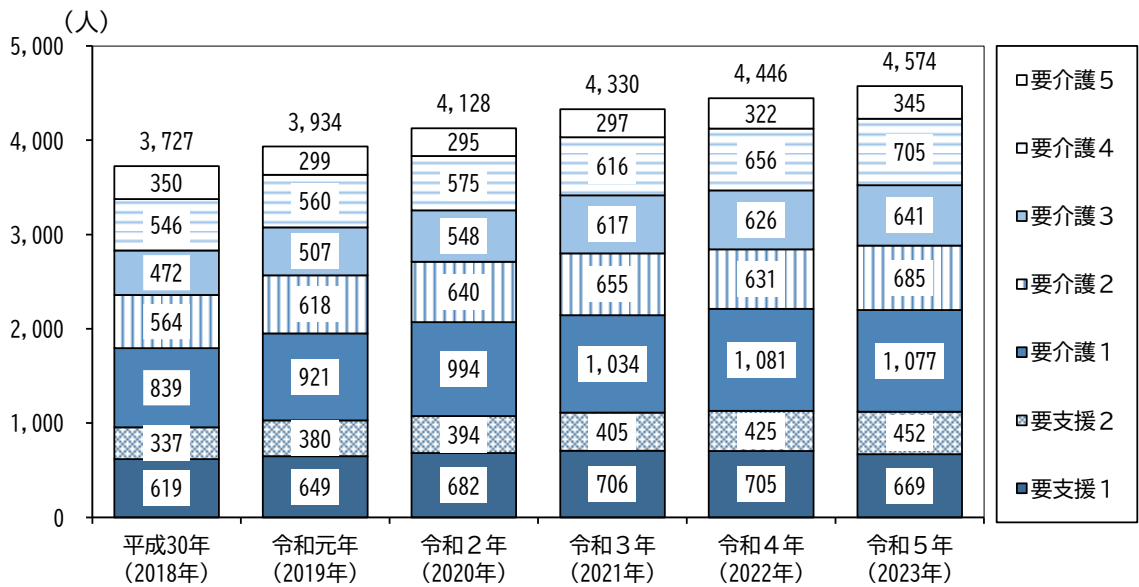
資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告」（各年9月月報）

### (3) 85歳以上

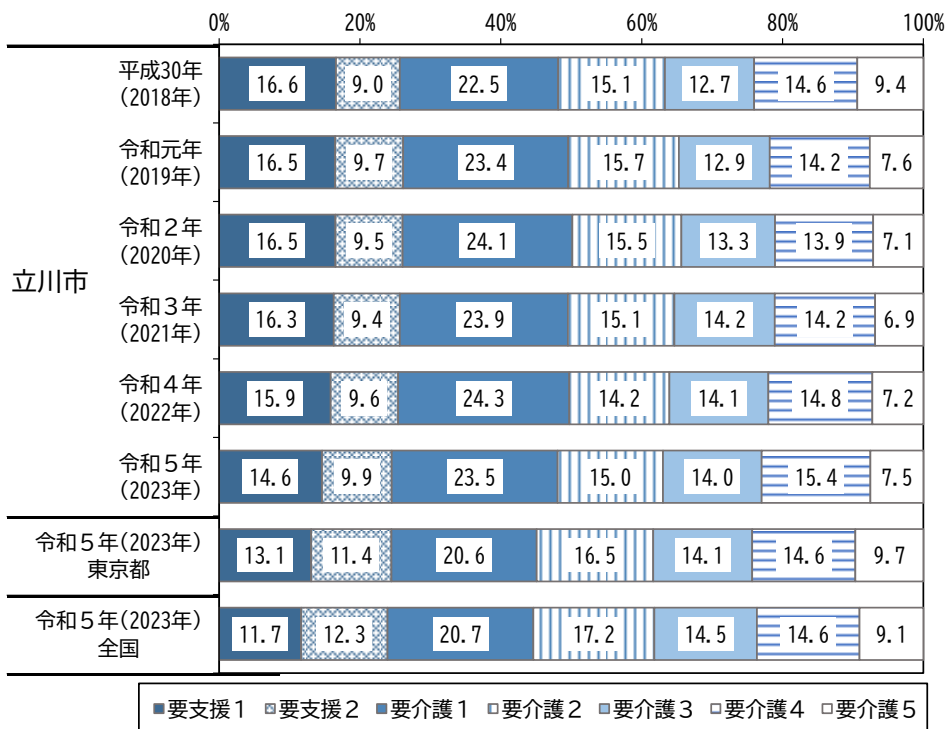
85歳以上における要介護・要支援認定者数については、増加傾向で推移しており、令和5（2023）年は4,574人となっています。

また、令和5（2023）年の要介護・要支援認定者の構成比は、要介護1が23.5%で最も多く、次いで要介護4が15.4%と続いており、要介護1、要介護4いずれも東京都、全国よりも割合が高くなっています。

要介護・要支援認定者数の推移（85歳以上）



要介護・要支援認定者構成比の推移（85歳以上）



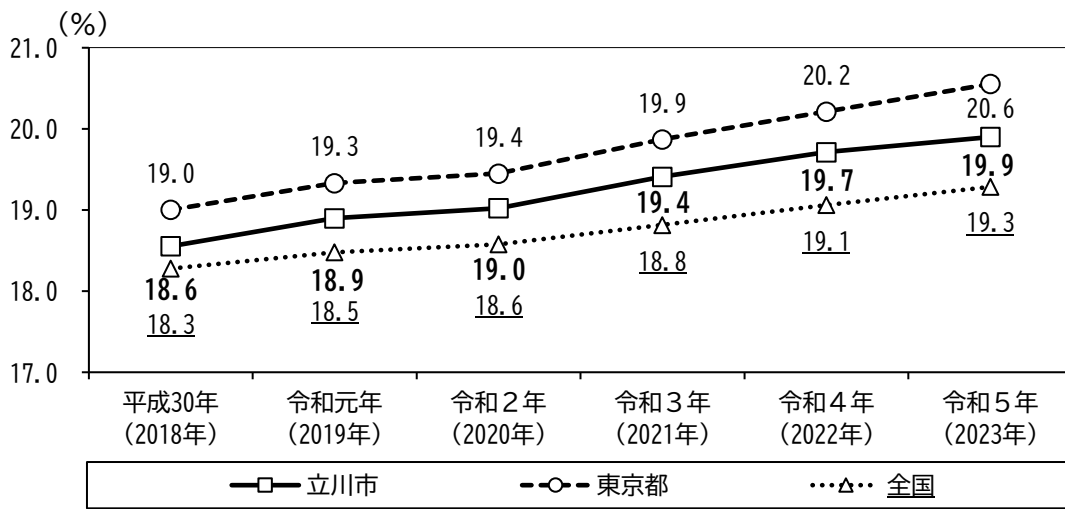
資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告」（各年9月月報）

### 3 要介護・要支援認定率

本市の第1号被保険者における要介護・要支援認定率は、増加傾向で全国より高く推移しており、令和5（2023）年は19.9%となっています。

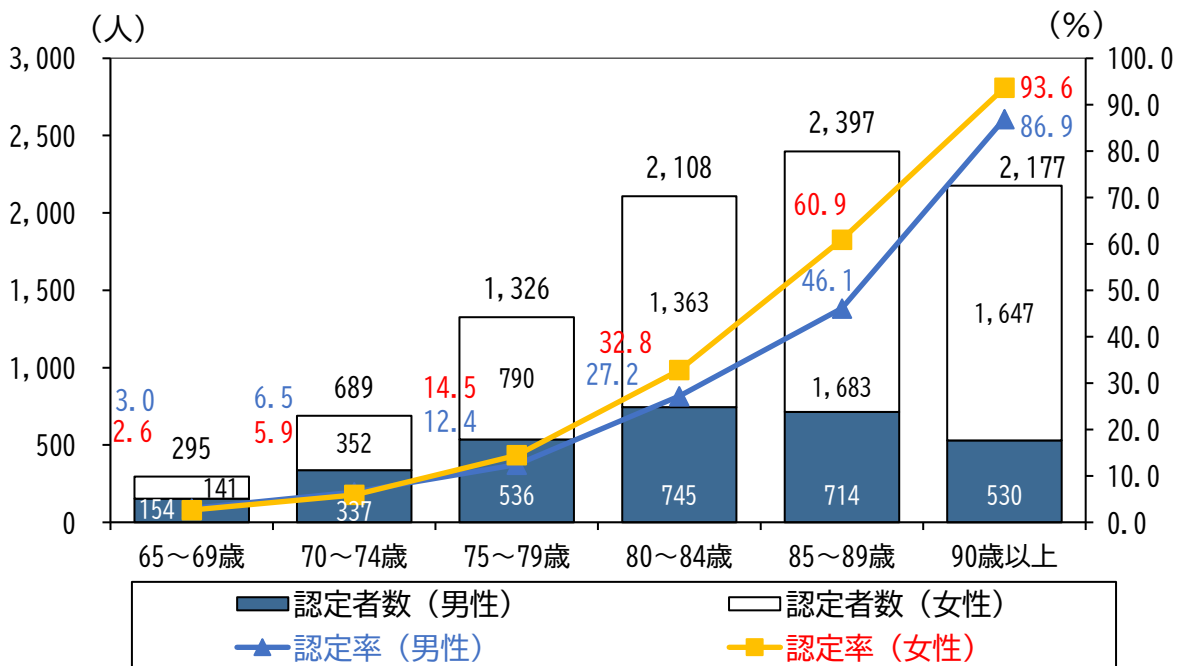
また、令和5（2023）年9月末の要介護・要支援認定率を年齢階級別で見ると、男性・女性いずれも74歳以下では1割以下ですが、年齢が上がるにつれて割合が増加し、90歳以上では、男性が86.9%、女性が93.6%となっています。

要介護・要支援認定率の推移（第1号被保険者）



資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告」（各年9月月報）

要介護・要支援認定者数と認定率（年齢階級別）（令和5年9月末）



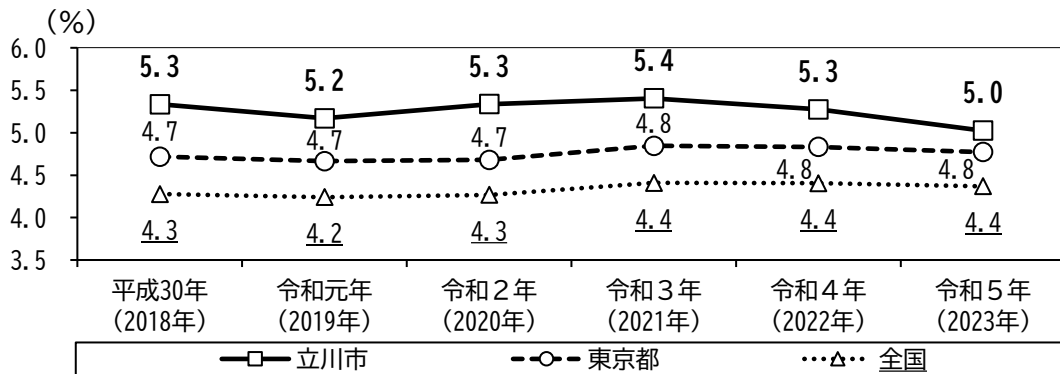
※ 年齢階級別の要介護・要支援認定率は住民基本台帳（令和4年10月1日）を用いて算出

資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告」（令和4年9月月報）、住民基本台帳（令和4年10月1日現在）

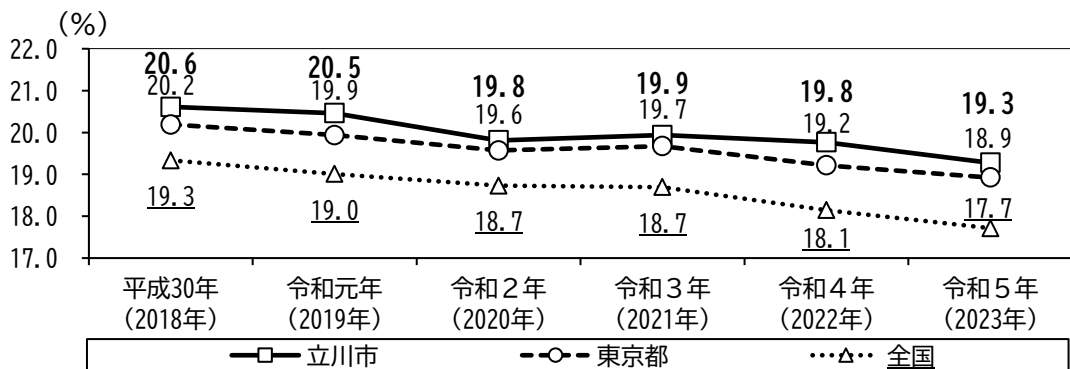
#### 4 年齢階級別にみる要介護・要支援認定率

本市の要介護・要支援認定率を年齢階級別で見ると、65～74歳と75～84歳は東京都、全国を上回って推移しており、令和5（2023）年は65～74歳で5.0%、75～84歳で19.3%となっています。また、令和5（2023）年の85歳以上における要介護・要支援認定率は58.7%となっています。

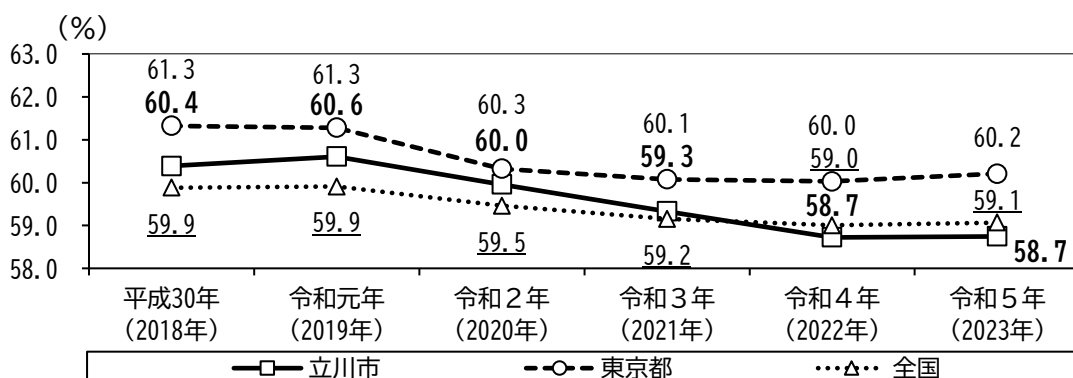
要介護・要支援認定率の推移（65～74歳）



要介護・要支援認定率の推移（75～84歳）



要介護・要支援認定率の推移（85歳以上）



資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告」（各年9月月報）

## 5 サービス受給者数の推移

### (1) 居宅（介護予防）サービス受給者数の推移

本市の居宅（介護予防）サービス受給者数は、要介護・要支援認定者数の増加に伴い増加傾向にあり、令和5（2023）年で5,428人となっています。

#### 居宅（介護予防）サービス受給者数の推移

（単位：人、円）

	平成30年 (2018年)	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)
全体	4,843	4,985	5,030	5,260	5,339	5,428
	101,073.6	98,598.1	102,366.3	100,321.5	100,914.9	101,222.9
要支援1	511	532	530	604	542	530
	21,774.1	20,239.8	22,583.6	21,956.1	20,161.5	20,921.9
要支援2	461	512	513	516	525	529
	26,107.6	27,133.3	27,603.1	30,214.9	28,715.9	25,928.3
要介護1	1,599	1,643	1,673	1,739	1,778	1,758
	81,161.0	80,466.3	82,269.4	82,275.8	80,922.9	78,578.6
要介護2	933	995	990	968	983	1,051
	109,131.0	112,161.9	112,179.0	107,927.4	110,168.3	107,478.8
要介護3	611	638	642	677	690	711
	151,934.0	150,393.6	157,079.4	154,187.2	145,218.1	152,404.3
要介護4	503	437	453	509	560	564
	182,005.4	180,035.4	191,116.3	182,892.4	181,288.8	180,228.3
要介護5	225	228	229	247	261	285
	223,829.1	212,358.6	229,947.4	217,855.8	225,604.1	222,890.7

※ 下段は受給者1人あたりの給付費

資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告」（各年11月月報（9月サービス分））

※ 居宅（介護予防）サービス…訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導、通所介護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、短期入所療養介護、福祉用具貸与、特定施設入居者生活介護、介護予防支援・居宅介護支援



(2) 地域密着型（介護予防）サービス受給者数の推移

本市の地域密着型（介護予防）サービス受給者数は、令和5（2023）年で1,085人となっています。

地域密着型（介護予防）サービス受給者数の推移

（単位：人、円）

	平成30年 (2018年)	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)
全体	920	988	932	1,015	1,049	1,085
	120,347.5	115,076.5	129,532.7	125,157.4	117,982.1	121,640.7
要支援1	3	1	7	3	1	3
	43,873.7	47,389.0	40,855.1	64,763.7	51,596.0	78,256.7
要支援2	1	1	1	1	1	2
	90,048.0	65,766.0	84,522.0	89,185.0	89,109.0	90,470.0
要介護1	343	389	365	427	429	436
	80,633.6	71,238.5	82,488.4	83,996.8	74,942.2	71,735.7
要介護2	242	258	245	241	245	258
	110,576.1	110,567.4	118,036.5	114,595.4	114,490.4	114,210.1
要介護3	155	170	163	175	178	198
	153,490.3	152,338.1	181,180.8	163,127.5	169,858.5	176,899.2
要介護4	122	112	94	103	133	134
	178,357.0	171,285.4	194,987.6	189,041.2	158,100.4	180,115.2
要介護5	54	57	57	65	62	54
	195,013.2	215,137.4	236,236.0	234,594.6	196,129.1	215,925.5

※ 下段は受給者1人あたりの給付費

資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告」（各年11月月報（9月サービス分））

※ 地域密着型（介護予防）サービス…定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護、地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、複合型サービス

### (3) 施設サービス受給者数の推移

本市の施設サービス受給者数は、増減を繰り返しながら推移しており、令和5（2023）年で1,252人となっています。

#### 施設サービス受給者数の推移

(単位：人、円)

	平成30年 (2018年)	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)
全体	1,199	1,229	1,197	1,250	1,229	1,252
	271,203.4	262,994.0	280,570.1	282,267.2	283,480.2	286,798.0
要介護1	85	75	79	71	71	62
	222,982.7	242,230.3	255,277.9	251,688.6	257,524.2	262,933.9
要介護2	114	125	121	118	106	99
	252,979.2	240,452.6	270,080.0	267,144.4	263,633.6	279,975.4
要介護3	311	323	316	351	350	336
	256,294.4	251,939.4	262,482.6	269,406.2	264,819.7	268,049.5
要介護4	397	454	440	474	465	498
	278,834.3	262,977.4	288,452.8	289,228.0	292,564.7	291,228.8
要介護5	292	252	241	236	237	257
	297,859.2	294,554.2	303,452.3	304,175.5	309,866.4	311,109.0

※ 下段は受給者1人あたりの給付費

資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告」（各年11月月報（9月サービス分））

※ 施設サービス…介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院

### 第3節 日常生活圏域\*別の状況

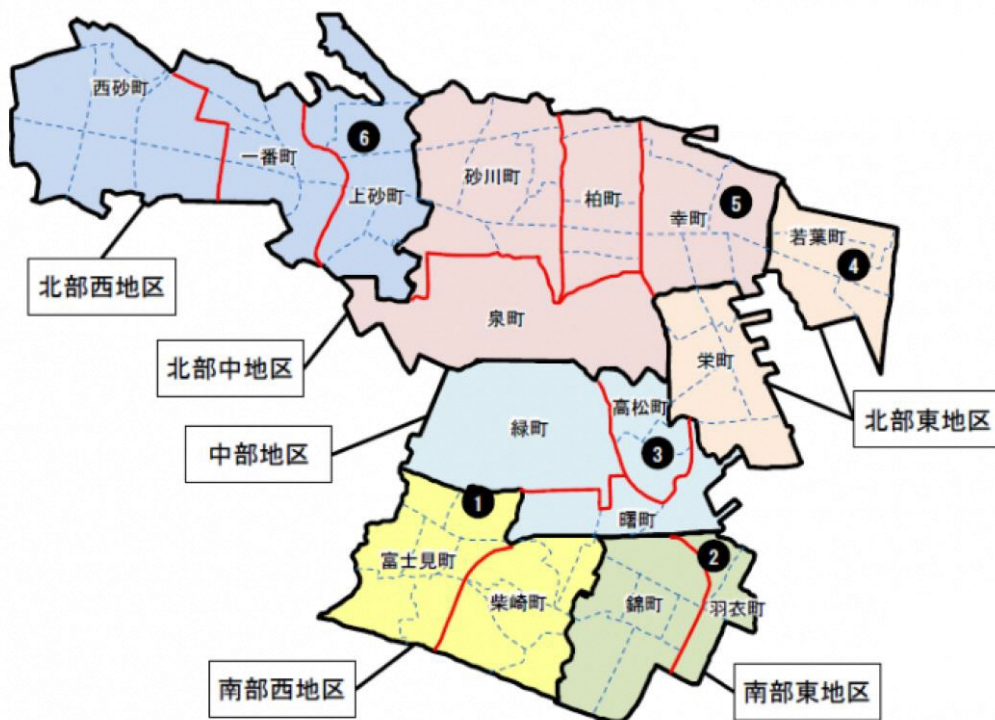
#### 1 日常生活圏域の設定

日常生活圏域とは、地理的条件、人口、交通事情その他の社会的条件、介護給付等対象サービスを提供するための施設の整備の状況その他の条件を総合的に勘案して、目指すべき地域包括ケアシステムを構築する区域を念頭において、地域の実情に応じて定めることとなっています。

前計画においては、「南部西地区」、「南部東地区」、「中部地区」、「北部東地区」、「北部中地区」、「北部西地区」の6圏域を設定し、地域包括支援センター\*の設置やサービス基盤の整備等を行っています。

本計画においても、この6圏域の考え方を継承し、民生委員・児童委員\*や地域福祉コーディネーター\*等と協働し、それぞれの地域の実情を踏まえたきめ細かい高齢者福祉・介護の環境づくりを進めていきます。

日常生活圏域



日常生活圏域	町
①南部西地区	富士見町、柴崎町
②南部東地区	錦町、羽衣町
③中部地区	曙町、高松町、緑町
④北部東地区	栄町、若葉町
⑤北部中地区	幸町、柏町、泉町、砂川町
⑥北部西地区	上砂町、一番町、西砂町

## 2 高齢化率等の状況

(単位：人、%)

圏域名	町名	総人口	高齢者人口		高齢化率			要介護等認定者数	要介護等認定率	認知症高齢者数	
			65歳～74歳	75歳以上	65歳～74歳	75歳以上	75歳以上				
①南部西地区	富士見町	19,098	5,590	2,369	3,221	29.3	12.4	16.9	996	17.9	329
	柴崎町	10,523	2,453	1,002	1,451	23.3	9.5	13.8	503	20.5	171
	合計	29,621	8,043	3,371	4,672	27.2	11.4	15.8	1,499	18.7	500
②南部東地区	錦町	18,560	3,734	1,716	2,018	20.1	9.2	10.9	732	19.7	260
	羽衣町	9,385	2,675	1,146	1,529	28.5	12.2	16.3	511	19.0	172
	合計	27,945	6,409	2,862	3,547	22.9	10.2	12.7	1,243	19.4	432
③中部地区	曙町	12,592	2,638	1,245	1,393	20.9	9.9	11.1	457	17.4	152
	高松町	11,925	2,390	1,089	1,301	20.0	9.1	10.9	439	18.4	145
	緑町	2,003	113	59	54	5.6	2.9	2.7	15	13.9	7
	合計	26,520	5,141	2,393	2,748	19.4	9.0	10.4	911	17.8	304
④北部東地区	栄町	12,930	3,233	1,346	1,887	25.0	10.4	14.6	571	17.7	198
	若葉町	11,091	3,758	1,491	2,267	33.9	13.4	20.4	627	16.5	206
	合計	24,021	6,991	2,837	4,154	29.1	11.8	17.3	1,198	17.1	404
⑤北部中地区	幸町	13,870	3,648	1,469	2,179	26.3	10.6	15.7	696	19.1	238
	柏町	9,597	2,285	873	1,412	23.8	9.1	14.7	415	18.1	116
	泉町	1,374	224	118	106	16.3	8.6	7.7	26	11.8	3
	砂川町	17,705	4,363	1,792	2,571	24.6	10.1	14.5	592	13.5	196
	合計	42,546	10,520	4,252	6,268	24.7	10.0	14.7	1,729	16.4	553
⑥北部西地区	上砂町	10,753	3,195	1,344	1,851	29.7	12.5	17.2	660	21.0	245
	一番町	13,315	3,819	1,697	2,122	28.7	12.7	15.9	611	16.1	212
	西砂町	10,989	1,876	938	938	17.1	8.5	8.5	279	14.8	113
	合計	35,057	8,890	3,979	4,911	25.4	11.4	14.0	1,550	17.6	570
合計		185,710	45,994	19,694	26,300	24.8	10.6	14.2	8,130	17.7	2,763

※ 要介護等認定者数等は他区市町村に住所地特例者が含まれているため、上記の表の人数等とは他図表の数値が一致しない場合があります

※ 認知症高齢者数は新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時的取扱いにより有効期間の延長を行った者は除きます

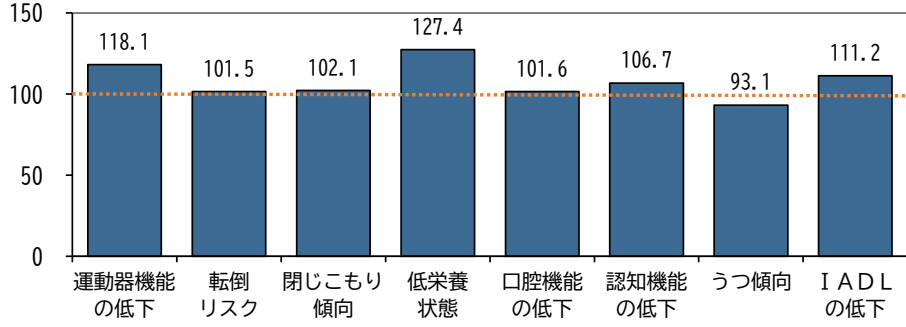
資料：住民基本台帳（各年10月1日現在）、厚生労働省「介護保険事業状況報告」（各年9月月報）

### 3 日常生活圏域別の状況

#### (1) 南部西地区

##### 南部西地区の概要

項目	概要																																				
圏域の構成	富士見町、柴崎町																																				
地域包括支援センター	南部西ふじみ地域包括支援センター (富士見町 2-36-47 立川市社会福祉協議会*内)																																				
圏域の概要	<p>○JR立川駅南口に面し、バス乗り場、商業施設の都市機能を有し、立川南通りから南へ一歩入ると市街地が広がっています。</p> <p>○JR中央線が、圏域の富士見町と柴崎町の町境の形で運行し、富士見町北部ではJR青梅線が運行しています。</p> <p>○多摩都市モノレールが、柴崎町の東部を南北に通っています。柴崎町に立川南駅、柴崎体育館駅を有します。</p> <p>○残堀川が富士見町地域を縦断し、柴崎町の南部を經由し多摩川に注いでいます。段丘下の河川沿いには遊歩道が整備され大いに利用されています。</p> <p>○圏域南部は多摩川と接しており、早朝のウォーキングなど、憩いの場となっています。</p>																																				
圏域の状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th>人口</th> <td>29,641人 (男性 14,604人 女性 15,037人)</td> </tr> <tr> <th>高齢者数</th> <td>8,015人 (男性 3,353人 女性 4,662人)</td> </tr> <tr> <th>高齢化率</th> <td>27.0%</td> </tr> <tr> <th>要介護・要支援認定者数</th> <td>1,542人 (うち 85歳以上 817人)</td> </tr> </thead></table> <p>(人) 性別・年齢階級別高齢者数 (令和5年1月1日現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年齢階級</th> <th>男性</th> <th>女性</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>65～69歳</td> <td>746</td> <td>823</td> <td>1,569</td> </tr> <tr> <td>70～74歳</td> <td>904</td> <td>1,028</td> <td>1,932</td> </tr> <tr> <td>75～79歳</td> <td>706</td> <td>932</td> <td>1,638</td> </tr> <tr> <td>80～84歳</td> <td>536</td> <td>834</td> <td>1,370</td> </tr> <tr> <td>85～89歳</td> <td>317</td> <td>610</td> <td>927</td> </tr> <tr> <td>90歳以上</td> <td>144</td> <td>435</td> <td>579</td> </tr> </tbody> </table> <p>資料：住民基本台帳 (令和5年1月1日現在)</p>	人口	29,641人 (男性 14,604人 女性 15,037人)	高齢者数	8,015人 (男性 3,353人 女性 4,662人)	高齢化率	27.0%	要介護・要支援認定者数	1,542人 (うち 85歳以上 817人)	年齢階級	男性	女性	合計	65～69歳	746	823	1,569	70～74歳	904	1,028	1,932	75～79歳	706	932	1,638	80～84歳	536	834	1,370	85～89歳	317	610	927	90歳以上	144	435	579
人口	29,641人 (男性 14,604人 女性 15,037人)																																				
高齢者数	8,015人 (男性 3,353人 女性 4,662人)																																				
高齢化率	27.0%																																				
要介護・要支援認定者数	1,542人 (うち 85歳以上 817人)																																				
年齢階級	男性	女性	合計																																		
65～69歳	746	823	1,569																																		
70～74歳	904	1,028	1,932																																		
75～79歳	706	932	1,638																																		
80～84歳	536	834	1,370																																		
85～89歳	317	610	927																																		
90歳以上	144	435	579																																		

項目	概要										
圏域の状況	<p style="text-align: center;">要介護状態になるリスクの発生状況（市全体を100とした場合）※</p>  <p style="text-align: center;">資料：立川市「令和4年度介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」</p>										
圏域の現状と課題	<p>○河岸段丘によってできた急傾斜地があり、富士見町・柴崎町とも南北の徒歩や自転車による移動がしづらくなっています。滝ノ上会館や柴崎会館は段丘の上に位置し、たまがわ・みらいパークや多摩川図書館、柴崎福祉会館などの施設は、新奥多摩街道の南側にあります。安全に移動できる身近な場所に、住民の集える拠点が求められています。（地域福祉アンテナショップなど。）</p> <p>○急傾斜地に近い地域は、風水害時の土砂災害に警戒する必要があります。</p> <p>○富士見町にはエレベーターのない5階建ての団地があり、建築されてから40～50年が経過し住民の高齢化が進んでいます。特に上階に暮らす方の昇降時の負荷が、生活に影響し始めています。</p> <p>○柴崎町の立川駅周辺は、古くからあった個人商店が徐々に減り、顔なじみの関係が少なくなりつつあります。また、安価で食料品等の生活必需品が手に入る環境も減りつつあります。</p>										
主な相談先・活動拠点など	介護保険事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>○居宅介護支援事業所 10 か所</li> <li>○訪問介護 14 か所</li> <li>○通所介護 4 か所、通所リハ 2 か所</li> <li>○訪問看護 4 か所</li> </ul>									
	通いの場	<ul style="list-style-type: none"> <li>○サロンなど 38 か所</li> <li>○地域福祉アンテナショップ 協働型 カフェユルク、のむすび ふじみ町みんなのおうち</li> </ul>									
	公共施設	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>○立川市総合福祉センター</td> <td>○柴崎福祉会館</td> </tr> <tr> <td>○柴崎学習館・柴崎図書館</td> <td>○柴崎会館</td> </tr> <tr> <td>○滝ノ上会館</td> <td>○柴崎市民体育館</td> </tr> <tr> <td>○シルバー人材センター*</td> <td>○たまがわみらいパーク</td> </tr> <tr> <td>○多摩川図書館</td> <td>○富士見連絡所</td> </tr> </table>	○立川市総合福祉センター	○柴崎福祉会館	○柴崎学習館・柴崎図書館	○柴崎会館	○滝ノ上会館	○柴崎市民体育館	○シルバー人材センター*	○たまがわみらいパーク	○多摩川図書館
○立川市総合福祉センター	○柴崎福祉会館										
○柴崎学習館・柴崎図書館	○柴崎会館										
○滝ノ上会館	○柴崎市民体育館										
○シルバー人材センター*	○たまがわみらいパーク										
○多摩川図書館	○富士見連絡所										

※ 「令和4年度介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の特定の調査項目を使用し、各種リスクの判定を行ったもので、圏域ごとのおおまかな傾向を把握しようとするものです。圏域の全体像を反映したものではありません（以下同じ）。

(2) 南部東地区

南部東地区の概要

項目	概要																																															
圏域の構成	錦町、羽衣町																																															
地域包括支援センター	南部東はごろも地域包括支援センター (羽衣町 1-12-18 羽衣地域福祉サービスセンター内)																																															
圏域の概要	<p>○錦町はJR立川駅南口に近接し、商業施設が広がり、駅周辺から一步入ると市街地が広がっています。</p> <p>○JR南武線の西国立駅が、圏域中央に位置し、線路で圏域を縦断しています。</p> <p>○錦町南部は、多摩川と接し、野球場・陸上競技場を有する立川公園など、うるおいあるオープンスペースが広がっています。羽衣町南部には矢川緑地が広がっています。</p>																																															
圏域の状況	<table border="1"> <tr> <td>人口</td> <td>27,743人 (男性 13,890人 女性 13,853人)</td> </tr> <tr> <td>高齢者数</td> <td>6,413人 (男性 2,773人 女性 3,640人)</td> </tr> <tr> <td>高齢化率</td> <td>23.1%</td> </tr> <tr> <td>要介護・要支援認定者数</td> <td>1,262人 (うち 85歳以上 723人)</td> </tr> </table> <p>(人) 性別・年齢階級別高齢者数 (令和5年1月1日現在)</p> <table border="1"> <caption>性別・年齢階級別高齢者数 (令和5年1月1日現在)</caption> <thead> <tr> <th>年齢階級</th> <th>男性</th> <th>女性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>65～69歳</td> <td>674</td> <td>648</td> </tr> <tr> <td>70～74歳</td> <td>780</td> <td>852</td> </tr> <tr> <td>75～79歳</td> <td>600</td> <td>708</td> </tr> <tr> <td>80～84歳</td> <td>381</td> <td>576</td> </tr> <tr> <td>85～89歳</td> <td>237</td> <td>455</td> </tr> <tr> <td>90歳以上</td> <td>101</td> <td>401</td> </tr> </tbody> </table> <p>資料：住民基本台帳 (令和5年1月1日現在)</p> <p>要介護状態になるリスクの発生状況 (市全体を 100 とした場合)</p> <table border="1"> <caption>要介護状態になるリスクの発生状況 (市全体を 100 とした場合)</caption> <thead> <tr> <th>リスク項目</th> <th>発生率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運動器機能の低下</td> <td>83.5</td> </tr> <tr> <td>転倒リスク</td> <td>105.1</td> </tr> <tr> <td>閉じこもり傾向</td> <td>89.5</td> </tr> <tr> <td>低栄養状態</td> <td>21.6</td> </tr> <tr> <td>口腔機能の低下</td> <td>95.6</td> </tr> <tr> <td>認知機能の低下</td> <td>90.3</td> </tr> <tr> <td>うつ傾向</td> <td>93.5</td> </tr> <tr> <td>IADLの低下</td> <td>61.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>資料：立川市「令和4年度介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」</p>	人口	27,743人 (男性 13,890人 女性 13,853人)	高齢者数	6,413人 (男性 2,773人 女性 3,640人)	高齢化率	23.1%	要介護・要支援認定者数	1,262人 (うち 85歳以上 723人)	年齢階級	男性	女性	65～69歳	674	648	70～74歳	780	852	75～79歳	600	708	80～84歳	381	576	85～89歳	237	455	90歳以上	101	401	リスク項目	発生率 (%)	運動器機能の低下	83.5	転倒リスク	105.1	閉じこもり傾向	89.5	低栄養状態	21.6	口腔機能の低下	95.6	認知機能の低下	90.3	うつ傾向	93.5	IADLの低下	61.6
人口	27,743人 (男性 13,890人 女性 13,853人)																																															
高齢者数	6,413人 (男性 2,773人 女性 3,640人)																																															
高齢化率	23.1%																																															
要介護・要支援認定者数	1,262人 (うち 85歳以上 723人)																																															
年齢階級	男性	女性																																														
65～69歳	674	648																																														
70～74歳	780	852																																														
75～79歳	600	708																																														
80～84歳	381	576																																														
85～89歳	237	455																																														
90歳以上	101	401																																														
リスク項目	発生率 (%)																																															
運動器機能の低下	83.5																																															
転倒リスク	105.1																																															
閉じこもり傾向	89.5																																															
低栄養状態	21.6																																															
口腔機能の低下	95.6																																															
認知機能の低下	90.3																																															
うつ傾向	93.5																																															
IADLの低下	61.6																																															

項目	概要	
圏域の現状と課題	<p>○錦町は、オートロックマンションの増加により、安否確認等が難しくなっている中、にしき福祉相談センター*を中心とした至誠学舎立川と連携を取りながら活動しています。</p> <p>○羽衣町は、自治会活動が活発で市民防災組織の結成や認知症見守り声かけ模擬訓練実施の実績があり、地域包括支援センターと自治会、関係機関が協働した活動を展開しています。</p> <p>○地域支え合いネットワーク事業（ちょこっとボランティア*）に力を入れており、ごみ出し支援を中心とした見守り活動が盛んな地域です。</p> <p>○介護予防に積極的に取り組み、内容の充実した教室を定期に開催しています。</p> <p>○障害者支援の事業所やNPO*、医療機関が多く、各所と連携していますが、複合的な課題を抱える方への支援ではさらなる連携や協働が必要と考えます。</p>	
主な相談先・活動拠点など	介護保険事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>○にしき福祉相談センター</li> <li>○居宅介護支援事業所7か所</li> <li>○訪問介護8か所</li> <li>○通所介護5か所</li> <li>○訪問看護4か所</li> </ul>
	通いの場	<ul style="list-style-type: none"> <li>○サロンなど19か所</li> <li>○地域福祉アンテナショップ 全部型 はねきんの家</li> </ul>
	公共施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子ども未来センター・錦連絡所      ○錦学習館・錦図書館</li> <li>○たましんR I S U R Uホール(市民会館)</li> <li>○羽衣地域福祉サービスセンター</li> <li>○羽衣中央会館      ○高齢者就労生きがい支援センター</li> <li>○シルバー人材センター</li> </ul>



(3) 中部地区

中部地区の概要

項目	概要																																																						
圏域の構成	高松町、曙町、緑町																																																						
地域包括支援センター	中部たかまつ地域包括支援センター (高松町 2-27-27 TBK 第1高松ビル 101)																																																						
圏域の概要	<p>○曙町は立川駅北口に面し、商業施設やホテルが建ち並ぶ中心市街地があります。東西には戸建て住宅や高層マンションなどの住宅地が広がっています。</p> <p>○高松町は古くからの住宅地ですが、家屋の建て替えやマンションなどが増えており、若い世帯が増えるなど、住民層の変化があります。</p> <p>○緑町は圏域西部に位置し裁判所や警察署が立ち並ぶ他、国営昭和記念公園を有し市民の憩いの場として豊かな環境が広がっています。</p> <p>○公共施設は利便性が高くたくさんの方に利用されています。</p>																																																						
圏域の状況	<table border="1"> <tr> <td>人口</td> <td>26,594人 (男性 13,752人 女性 12,842人)</td> </tr> <tr> <td>高齢者数</td> <td>5,118人 (男性 2,265人 女性 2,853人)</td> </tr> <tr> <td>高齢化率</td> <td>19.2%</td> </tr> <tr> <td>要介護・要支援認定者数</td> <td>930人 (うち 85歳以上 528人)</td> </tr> </table> <p>(人) 性別・年齢階級別高齢者数 (令和5年1月1日現在)</p> <table border="1"> <caption>性別・年齢階級別高齢者数 (令和5年1月1日現在)</caption> <thead> <tr> <th>年齢階級</th> <th>男性</th> <th>女性</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>65~69歳</td> <td>577</td> <td>602</td> <td>1,179</td> </tr> <tr> <td>70~74歳</td> <td>638</td> <td>661</td> <td>1,299</td> </tr> <tr> <td>75~79歳</td> <td>472</td> <td>555</td> <td>1,027</td> </tr> <tr> <td>80~84歳</td> <td>309</td> <td>428</td> <td>737</td> </tr> <tr> <td>85~89歳</td> <td>167</td> <td>353</td> <td>520</td> </tr> <tr> <td>90歳以上</td> <td>102</td> <td>254</td> <td>356</td> </tr> </tbody> </table> <p>資料：住民基本台帳 (令和5年1月1日現在)</p> <p>要介護状態になるリスクの発生状況 (市全体を 100 とした場合)</p> <table border="1"> <caption>要介護状態になるリスクの発生状況 (市全体を 100 とした場合)</caption> <thead> <tr> <th>リスク項目</th> <th>発生状況 (市全体を100とした場合)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運動器機能の低下</td> <td>100.2</td> </tr> <tr> <td>転倒リスク</td> <td>97.8</td> </tr> <tr> <td>閉じこもり傾向</td> <td>58.7</td> </tr> <tr> <td>低栄養状態</td> <td>57.3</td> </tr> <tr> <td>口腔機能の低下</td> <td>104.0</td> </tr> <tr> <td>認知機能の低下</td> <td>98.2</td> </tr> <tr> <td>うつ傾向</td> <td>107.7</td> </tr> <tr> <td>IADLの低下</td> <td>108.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>資料：立川市「令和4年度介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」</p>	人口	26,594人 (男性 13,752人 女性 12,842人)	高齢者数	5,118人 (男性 2,265人 女性 2,853人)	高齢化率	19.2%	要介護・要支援認定者数	930人 (うち 85歳以上 528人)	年齢階級	男性	女性	合計	65~69歳	577	602	1,179	70~74歳	638	661	1,299	75~79歳	472	555	1,027	80~84歳	309	428	737	85~89歳	167	353	520	90歳以上	102	254	356	リスク項目	発生状況 (市全体を100とした場合)	運動器機能の低下	100.2	転倒リスク	97.8	閉じこもり傾向	58.7	低栄養状態	57.3	口腔機能の低下	104.0	認知機能の低下	98.2	うつ傾向	107.7	IADLの低下	108.9
人口	26,594人 (男性 13,752人 女性 12,842人)																																																						
高齢者数	5,118人 (男性 2,265人 女性 2,853人)																																																						
高齢化率	19.2%																																																						
要介護・要支援認定者数	930人 (うち 85歳以上 528人)																																																						
年齢階級	男性	女性	合計																																																				
65~69歳	577	602	1,179																																																				
70~74歳	638	661	1,299																																																				
75~79歳	472	555	1,027																																																				
80~84歳	309	428	737																																																				
85~89歳	167	353	520																																																				
90歳以上	102	254	356																																																				
リスク項目	発生状況 (市全体を100とした場合)																																																						
運動器機能の低下	100.2																																																						
転倒リスク	97.8																																																						
閉じこもり傾向	58.7																																																						
低栄養状態	57.3																																																						
口腔機能の低下	104.0																																																						
認知機能の低下	98.2																																																						
うつ傾向	107.7																																																						
IADLの低下	108.9																																																						

項目	概 要	
圏域の現状と課題	<p>○古い家屋の建て替えや新規マンションによる住民の変化があり、ご近所づきあいがなく孤立する高齢者が増加しています。これまで構築されていた地域のつながりが薄れてきています。</p> <p>○とりわけオートロックマンションにおいては住民への見守り訪問や安否確認が困難となっており、実態把握がしにくい状況となっています。</p> <p>○住宅が密集し生活道路が狭く大規模災害時の救護活動に懸念があります。</p> <p>○駅周辺という事もあり、地域の活動拠点となる場所の確保に苦慮しています。</p>	
主な相談先・活動拠点など	介護保険事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>○居宅介護支援事業所 4 か所</li> <li>○訪問介護 6 か所</li> <li>○通所介護 1 か所</li> <li>○訪問看護 4 か所</li> </ul>
	通いの場	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域福祉アンテナショップ</li> <li>協働型 にんじん立川地域交流スペース</li> <li>曙みんなのえんがわ</li> </ul>
	公共施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康会館            ○高松学習館            ○高松図書館</li> <li>○曙福社会館        ○たかまつ会館        ○競輪場</li> <li>○窓口サービスセンター</li> <li>○女性総合センターアイム</li> <li>○中央図書館</li> </ul>

(4) 北部東地区

北部東地区の概要

項目	概要																																																						
圏域の構成	栄町、若葉町																																																						
地域包括支援センター	北部東わかば地域包括支援センター（若葉町 3-45-2 介護老人保健施設わかば内） サテライト BASE☆298（若葉町団地内） 出張包括（栄福祉会キッチンさかえ内、公務員宿舎共用棟内）																																																						
圏域の概要	<p>○圏域は国分寺市を挟み、若葉町は小平市にも接しています。</p> <p>○栄町は、芋窪街道・立川通りのバス通りに面し、JR立川駅へのアクセスは良好です。若葉町もJR立川駅・国立駅へのバス路線が整備されています。</p> <p>○栄町は、全域で住宅地が広がり、木造住宅が多い地域は、生活道路は狭く大規模災害時の救助等の活動に支障があると懸念されています。</p> <p>○若葉町は、小平市との市境に東西に広い若葉町団地を有し、南部には国分寺にまで続く大規模なけやき台団地があります。交通量の多い五日市街道が東西に走り、両脇には住宅や大規模な農地もあります。</p>																																																						
圏域の状況	<table border="1"> <tr> <td>人口</td> <td>24,247人（男性 11,740人 女性 12,507人）</td> </tr> <tr> <td>高齢者数</td> <td>7,026人（男性 3,019人 女性 4,007人）</td> </tr> <tr> <td>高齢化率</td> <td>29.0%</td> </tr> <tr> <td>要介護・要支援認定者数</td> <td>1,179人（うち85歳以上 656人）</td> </tr> </table> <p>(人) 性別・年齢階級別高齢者数（令和5年1月1日現在）</p> <table border="1"> <caption>性別・年齢階級別高齢者数（令和5年1月1日現在）</caption> <thead> <tr> <th>年齢階級</th> <th>男性</th> <th>女性</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>65～69歳</td> <td>601</td> <td>647</td> <td>1,248</td> </tr> <tr> <td>70～74歳</td> <td>773</td> <td>942</td> <td>1,715</td> </tr> <tr> <td>75～79歳</td> <td>673</td> <td>910</td> <td>1,583</td> </tr> <tr> <td>80～84歳</td> <td>501</td> <td>734</td> <td>1,235</td> </tr> <tr> <td>85～89歳</td> <td>325</td> <td>505</td> <td>830</td> </tr> <tr> <td>90歳以上</td> <td>146</td> <td>269</td> <td>415</td> </tr> </tbody> </table> <p>資料：住民基本台帳（令和5年1月1日現在）</p> <p>要介護状態になるリスクの発生状況（市全体を100とした場合）</p> <table border="1"> <caption>要介護状態になるリスクの発生状況（市全体を100とした場合）</caption> <thead> <tr> <th>リスク項目</th> <th>発生状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運動器機能の低下</td> <td>113.9</td> </tr> <tr> <td>転倒リスク</td> <td>117.6</td> </tr> <tr> <td>閉じこもり傾向</td> <td>93.0</td> </tr> <tr> <td>低栄養状態</td> <td>146.6</td> </tr> <tr> <td>口腔機能の低下</td> <td>107.2</td> </tr> <tr> <td>認知機能の低下</td> <td>103.9</td> </tr> <tr> <td>うつ傾向</td> <td>100.9</td> </tr> <tr> <td>IADLの低下</td> <td>104.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>資料：立川市「令和4年度介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」</p>	人口	24,247人（男性 11,740人 女性 12,507人）	高齢者数	7,026人（男性 3,019人 女性 4,007人）	高齢化率	29.0%	要介護・要支援認定者数	1,179人（うち85歳以上 656人）	年齢階級	男性	女性	合計	65～69歳	601	647	1,248	70～74歳	773	942	1,715	75～79歳	673	910	1,583	80～84歳	501	734	1,235	85～89歳	325	505	830	90歳以上	146	269	415	リスク項目	発生状況	運動器機能の低下	113.9	転倒リスク	117.6	閉じこもり傾向	93.0	低栄養状態	146.6	口腔機能の低下	107.2	認知機能の低下	103.9	うつ傾向	100.9	IADLの低下	104.5
人口	24,247人（男性 11,740人 女性 12,507人）																																																						
高齢者数	7,026人（男性 3,019人 女性 4,007人）																																																						
高齢化率	29.0%																																																						
要介護・要支援認定者数	1,179人（うち85歳以上 656人）																																																						
年齢階級	男性	女性	合計																																																				
65～69歳	601	647	1,248																																																				
70～74歳	773	942	1,715																																																				
75～79歳	673	910	1,583																																																				
80～84歳	501	734	1,235																																																				
85～89歳	325	505	830																																																				
90歳以上	146	269	415																																																				
リスク項目	発生状況																																																						
運動器機能の低下	113.9																																																						
転倒リスク	117.6																																																						
閉じこもり傾向	93.0																																																						
低栄養状態	146.6																																																						
口腔機能の低下	107.2																																																						
認知機能の低下	103.9																																																						
うつ傾向	100.9																																																						
IADLの低下	104.5																																																						

項目	概要	
圏域の現状と課題	<p>○立川市で最初に地域福祉コーディネーターが配置され、早くから地域連携が進んでおり、高齢者に限らず地域との協働が図られています。</p> <p>○圏域が国分寺市を挟んだ地形になっており、地域包括支援センターが若葉町の端に所在することから、栄町の住民がセンターを利用することが困難な地理的状況です。そんな中、少しでも利用しやすくするために、出張包括を栄町に2か所設置して活動拠点を増やしました。まだ、利用者が少ないため、センターのあり方や運用方法を検討していく必要があります。</p> <p>○圏域が市境にあるので、一つの地域として考えたとき隣市との協働は不可欠です。</p>	
主な相談先・活動拠点など	介護保険事業者	<p>○居宅介護支援事業所7か所</p> <p>○訪問介護4か所</p> <p>○通所介護1か所、通所リハ2か所</p> <p>○訪問看護2か所</p>
	通いの場	<p>○サロンなど40か所</p> <p>○地域福祉アンテナショップ</p> <p>全部型 BASE☆298</p> <p>協働型 ライブリーちょっと立ち寄り処 ライブリー談話室</p> <p>ゆとりある茶話会</p>
	公共施設	○若葉会館・若葉図書館・東部連絡所 ○さかえ会館

(5) 北部中地区

北部中地区の概要

項目	概要																																																						
圏域の構成	幸町、柏町、泉町、砂川町																																																						
地域包括支援センター	北部中さいわい地域包括支援センター (幸町 4-14-1 至誠キートスホーム内)																																																						
圏域の概要	<p>○西武拝島線が圏域北部を東西に通っており、多摩モノレールが圏域中央部を南北に縦断しています。</p> <p>○宅地・団地などの市街地のほか、農地などの緑も広がり、玉川上水ではホテルが見られる場所もあります。</p> <p>○圏域南側に位置する泉町は、市役所・消防署など庁舎の他、大規模商業施設や国営昭和記念公園を有し、にぎわいとやすらぎの交流都市立川を象徴させる地域です。</p>																																																						
圏域の状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th>人口</th> <td>42,425 人 (男性 20,786 人 女性 21,639 人)</td> </tr> <tr> <th>高齢者数</th> <td>10,548 人 (男性 4,618 人 女性 5,930 人)</td> </tr> <tr> <th>高齢化率</th> <td>24.9%</td> </tr> <tr> <th>要介護・要支援認定者数</th> <td>1,759 人 (うち 85 歳以上 941 人)</td> </tr> </thead> </table> <p>(人) 性別・年齢階級別高齢者数 (令和5年1月1日現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年齢階級</th> <th>男性</th> <th>女性</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>65~69歳</td> <td>985</td> <td>992</td> <td>1,977</td> </tr> <tr> <td>70~74歳</td> <td>1,136</td> <td>1,288</td> <td>2,424</td> </tr> <tr> <td>75~79歳</td> <td>978</td> <td>1,263</td> <td>2,241</td> </tr> <tr> <td>80~84歳</td> <td>843</td> <td>1,190</td> <td>2,033</td> </tr> <tr> <td>85~89歳</td> <td>469</td> <td>758</td> <td>1,227</td> </tr> <tr> <td>90歳以上</td> <td>207</td> <td>439</td> <td>646</td> </tr> </tbody> </table> <p>資料：住民基本台帳 (令和5年1月1日現在)</p> <p>要介護状態になるリスクの発生状況 (市全体を 100 とした場合)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>リスク項目</th> <th>発生状況 (市全体を100とした場合)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運動器機能の低下</td> <td>84.3</td> </tr> <tr> <td>転倒リスク</td> <td>92.3</td> </tr> <tr> <td>閉じこもり傾向</td> <td>131.4</td> </tr> <tr> <td>低栄養状態</td> <td>118.7</td> </tr> <tr> <td>口腔機能の低下</td> <td>94.6</td> </tr> <tr> <td>認知機能の低下</td> <td>98.5</td> </tr> <tr> <td>うつ傾向</td> <td>104.5</td> </tr> <tr> <td>IADLの低下</td> <td>113.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>資料：立川市「令和4年度介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」</p>	人口	42,425 人 (男性 20,786 人 女性 21,639 人)	高齢者数	10,548 人 (男性 4,618 人 女性 5,930 人)	高齢化率	24.9%	要介護・要支援認定者数	1,759 人 (うち 85 歳以上 941 人)	年齢階級	男性	女性	合計	65~69歳	985	992	1,977	70~74歳	1,136	1,288	2,424	75~79歳	978	1,263	2,241	80~84歳	843	1,190	2,033	85~89歳	469	758	1,227	90歳以上	207	439	646	リスク項目	発生状況 (市全体を100とした場合)	運動器機能の低下	84.3	転倒リスク	92.3	閉じこもり傾向	131.4	低栄養状態	118.7	口腔機能の低下	94.6	認知機能の低下	98.5	うつ傾向	104.5	IADLの低下	113.9
人口	42,425 人 (男性 20,786 人 女性 21,639 人)																																																						
高齢者数	10,548 人 (男性 4,618 人 女性 5,930 人)																																																						
高齢化率	24.9%																																																						
要介護・要支援認定者数	1,759 人 (うち 85 歳以上 941 人)																																																						
年齢階級	男性	女性	合計																																																				
65~69歳	985	992	1,977																																																				
70~74歳	1,136	1,288	2,424																																																				
75~79歳	978	1,263	2,241																																																				
80~84歳	843	1,190	2,033																																																				
85~89歳	469	758	1,227																																																				
90歳以上	207	439	646																																																				
リスク項目	発生状況 (市全体を100とした場合)																																																						
運動器機能の低下	84.3																																																						
転倒リスク	92.3																																																						
閉じこもり傾向	131.4																																																						
低栄養状態	118.7																																																						
口腔機能の低下	94.6																																																						
認知機能の低下	98.5																																																						
うつ傾向	104.5																																																						
IADLの低下	113.9																																																						

項目	概要	
圏域の現状と課題	<p>○6圏域の中で、最も高齢者人口の多い地域です。民生児童委員、地域福祉コーディネーター、地域包括支援センターの3者による懇談会を各町で行い、受援力の考え方を広めています。</p> <p>○モノレールやバスなどで南北の移動はしやすいものの、砂川エリアから幸福社会館や地域包括支援センターへの移動に路線バスの乗り継ぎが必要です。また五日市街道沿いの歩道が狭く、車椅子走行やすれ違い通行に支障があります。</p> <p>○地域包括支援センターが圏域の東端に位置しており、東西の移動問題から、砂川地区への活動拠点を検討することが必要です。</p>	
主な相談先・活動拠点など	介護保険事業者	<p>○居宅介護支援事業所 13 か所</p> <p>○訪問介護 10 か所</p> <p>○通所介護 7 か所</p> <p>○訪問看護 4 か所</p>
	通いの場	<p>○サロンなど 47 か所</p> <p>○地域福祉アンテナショップ 全部型 スマイルキッチン 協働型 健康カフェ SANKI</p>
	公共施設	<p>○立川市役所      ○泉市民体育館      ○砂川学習館</p> <p>○幸学習館      ○幸福社会館      ○こぶし会館</p> <p>○幸図書館      ○こんぴら橋会館</p> <p>○柏地域福祉サービスセンター</p> <p>○ファーマーズセンターみのーれ立川</p> <p>○川越緑道古民家園</p>

(6) 北部西地区

北部西地区の概要

項目	概要								
圏域の構成	上砂町、一番町、西砂町								
地域包括支援センター	北部西かみすな地域包括支援センター (上砂町 5-76-4 砂川園内)								
圏域の概要	<p>○圏域の中央部を西武拝島線が東西に横断し、上砂町には武蔵砂川駅、西砂町には西武立川駅を有しています。</p> <p>○圏域中央部には大規模な都営住宅やURの分譲や賃貸、市営住宅もあり、都営住宅では建て替えも進んでいます。</p> <p>○玉川上水が東西に流れ、うるおいある水辺環境があり、農地も広がっています。</p> <p>○圏域が市の西部に位置するため、JR立川駅へ向かう路線があり、隣市(昭島市)へのアクセスが便利な地域もあります。</p>								
圏域の状況	<table border="1"> <tr> <td>人口</td> <td>34,833人 (男性 17,095人 女性 17,738人)</td> </tr> <tr> <td>高齢者数</td> <td>8,820人 (男性 3,852人 女性 4,968人)</td> </tr> <tr> <td>高齢化率</td> <td>25.3%</td> </tr> <tr> <td>要介護・要支援認定者数</td> <td>1,546人 (うち85歳以上738人)</td> </tr> </table> <p>(人) 性別・年齢階級別高齢者数(令和5年1月1日現在)</p> <p>資料：住民基本台帳(令和5年1月1日現在)</p> <p>要介護状態になるリスクの発生状況(市全体を100とした場合)</p> <p>資料：立川市「令和4年度介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」</p>	人口	34,833人 (男性 17,095人 女性 17,738人)	高齢者数	8,820人 (男性 3,852人 女性 4,968人)	高齢化率	25.3%	要介護・要支援認定者数	1,546人 (うち85歳以上738人)
人口	34,833人 (男性 17,095人 女性 17,738人)								
高齢者数	8,820人 (男性 3,852人 女性 4,968人)								
高齢化率	25.3%								
要介護・要支援認定者数	1,546人 (うち85歳以上738人)								

項目	概要	
圏域の現状と課題	<p>○大規模な都営団地が2か所、その他URや市営住宅、戸建住宅など住まいの形態は多様となっています。JR立川駅までの交通手段としては、路線バスから離れた地域では電車などの乗り継ぎが必要です。</p> <p>○西砂町では3世代同居家族も多いが、世代交代が進み、新興住宅も増えてきています。</p> <p>○圏域面積が広く、外出のついでにちょっとした相談をする場や気軽に集まる場の確保が難しい地域です。</p> <p>○北部西地域は、介護保険事業所や医療機関などが少ないものの、市を越えての介護保険事業所や医療機関との連携を図っています。</p>	
主な相談先・活動拠点など	介護保険事業者	<p>○かみすな福祉相談センター ○にしすな福祉相談センター</p> <p>○居宅介護支援事業所6か所</p> <p>○訪問介護5か所</p> <p>○通所介護6か所</p> <p>○訪問看護2か所</p>
	通いの場	<p>○サロンなど56件</p> <p>○地域福祉アンテナショップ</p> <p>全部型 にこにこサロン</p>
	公共施設	<p>○上砂地域福祉サービスセンター</p> <p>○上砂会館 ○上砂図書館</p> <p>○天王橋会館 ○一番福祉会館 ○西砂学習館</p> <p>○西砂会館 ○西砂図書館</p> <p>○総合リサイクルセンター ○西部連絡所</p>



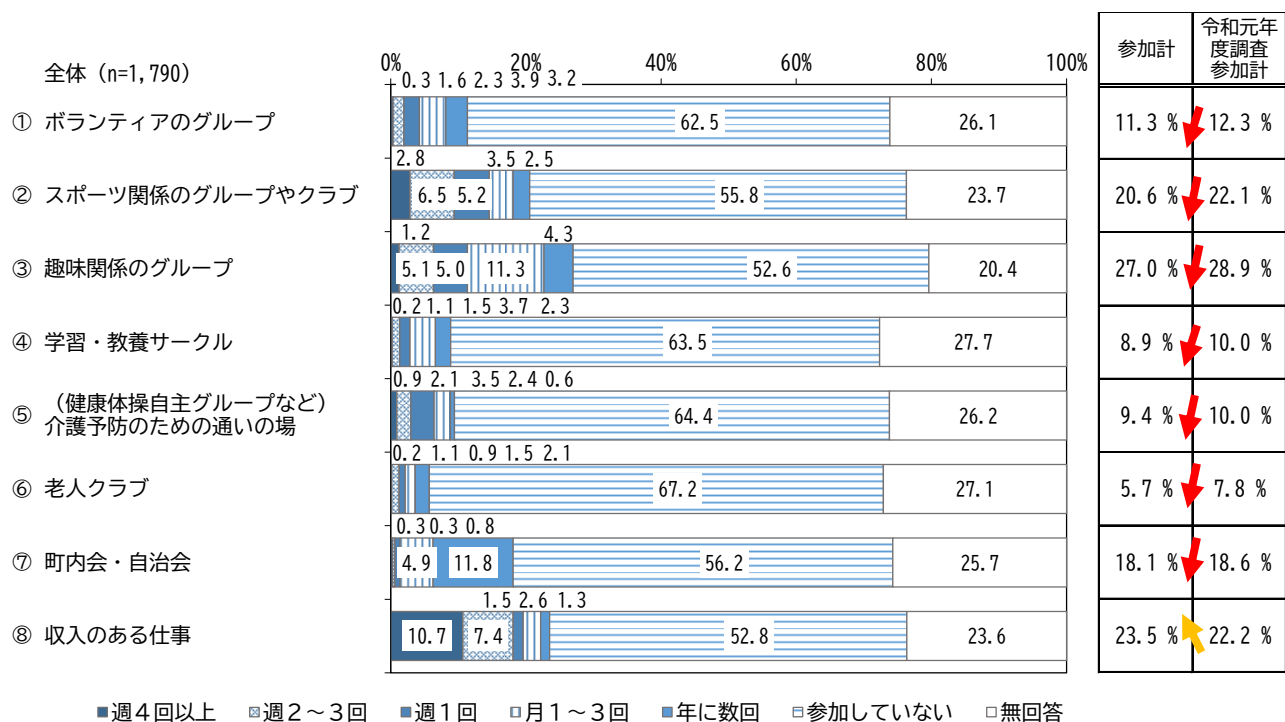
## 第4節 事前調査結果から見た高齢者の現状と意向

### 1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

#### (1) 社会参加の状況

社会活動の状況について、参加している割合が令和元（2019）年度に比べて全体的に減少しています。

社会参加の状況

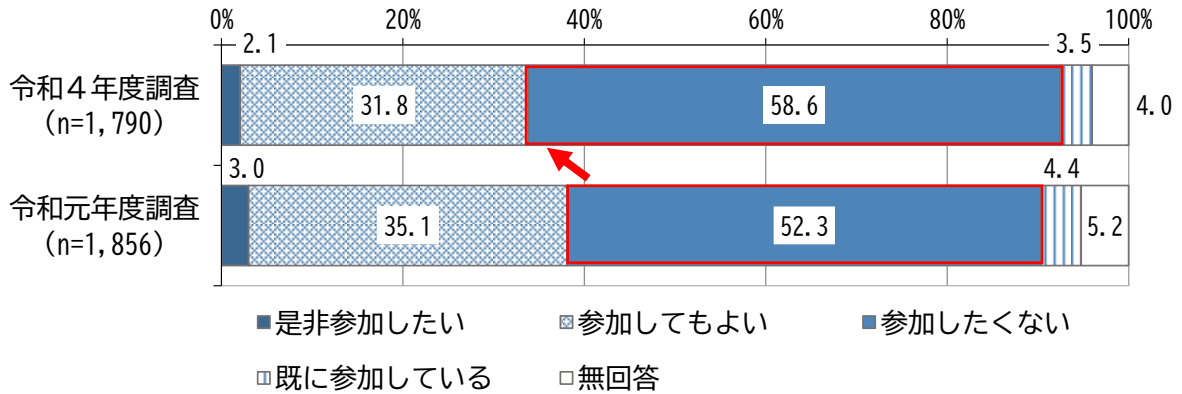


※ 参加計…「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」の合計

(2) 地域づくりに企画・運営として参加したいか

地域住民のグループ活動による地域づくりに企画・運営として参加したいかについて、令和元(2019)年度調査と比較すると、「参加したくない」(58.6%)では、令和元(2019)年度調査(52.3%)より6.3ポイント増加しています。

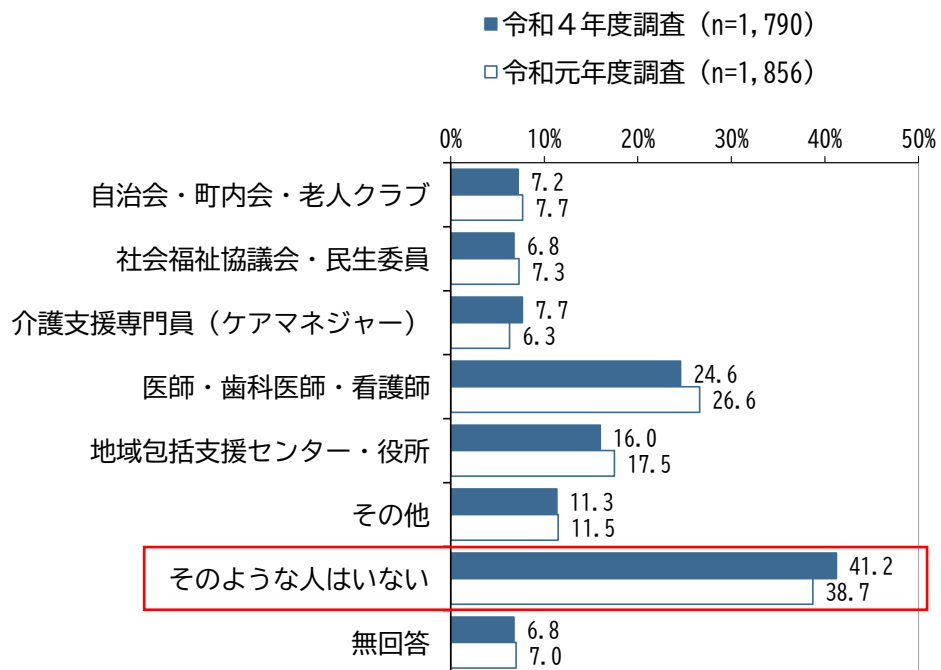
地域住民のグループ活動による地域づくりに企画・運営として参加したいか



(3) 家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手

家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手については、「そのような人はいない」が41.2%で最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が24.6%、「地域包括支援センター・役所」が16.0%と続いています。

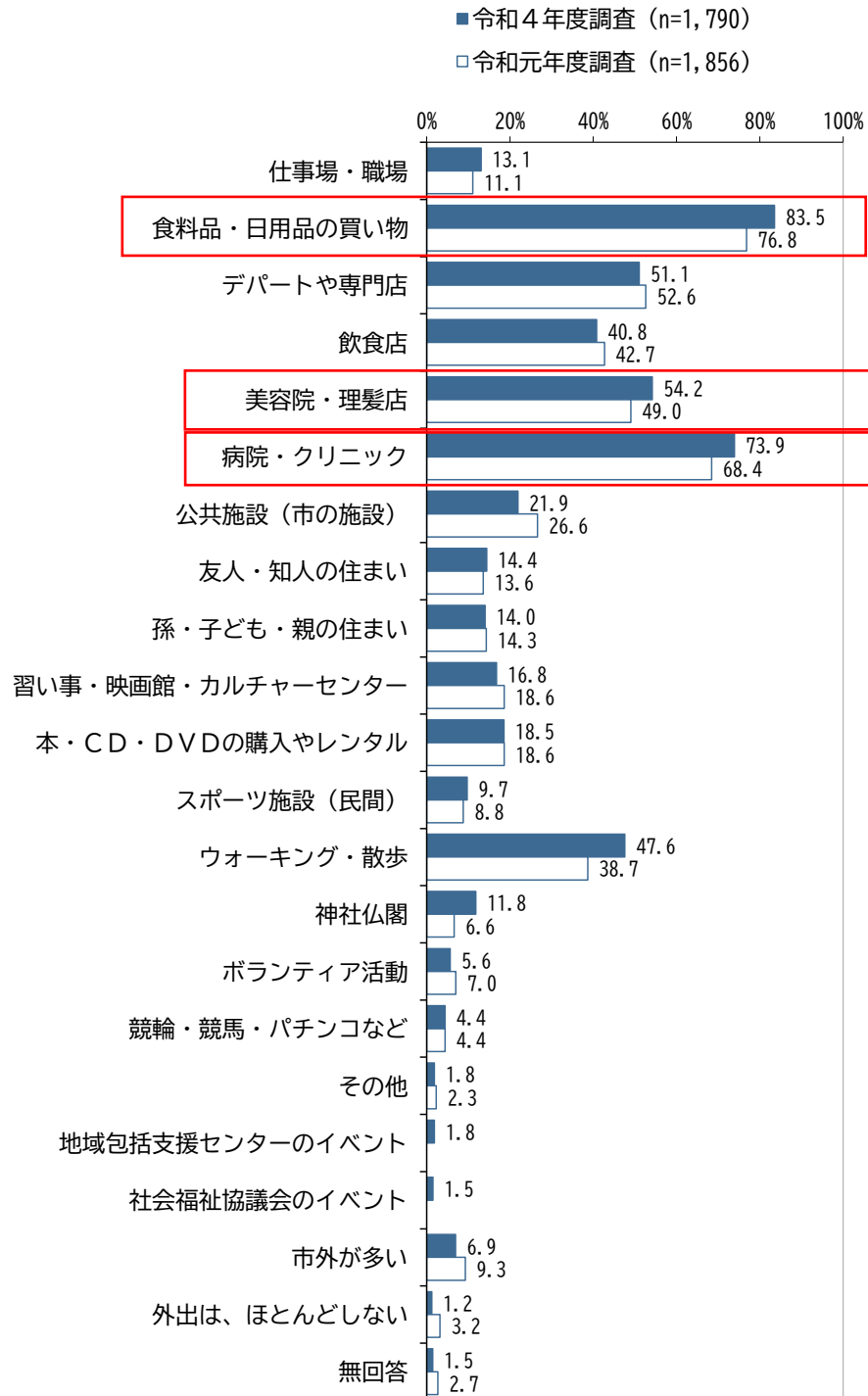
家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手



#### (4) 立川市内の外出先

立川市内の外出先については、「食料品・日用品の買い物」が83.5%で最も高く、次いで「病院・クリニック」が73.9%、「美容院・理髪店」が54.2%と続いています。

#### 立川市内の外出先

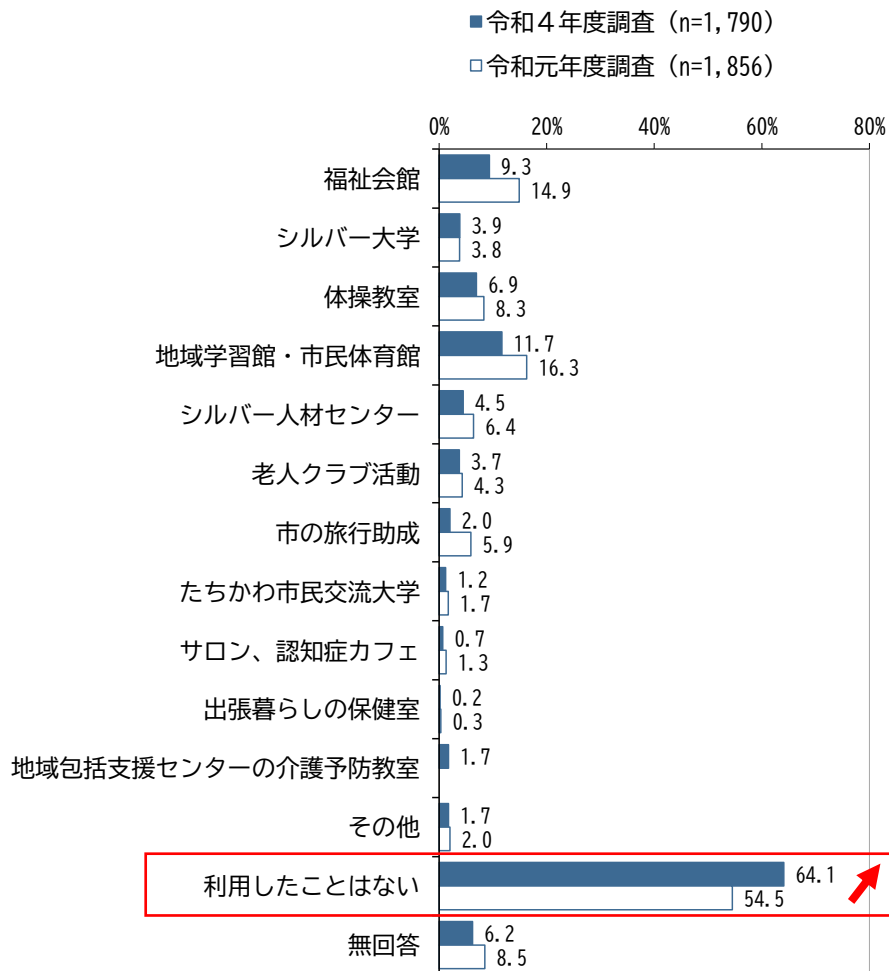


※ 「地域包括支援センターのイベント」、「社会福祉協議会のイベント」は令和4（2022）年度調査からの選択肢

### (5) 1年以内に立川市のサービスや施設で利用したもの

1年以内に立川市のサービスや施設で利用したものについて、令和元（2019）年度調査と比較すると、「利用したことはない」（64.1％）では、令和元（2019）年度調査（54.5％）より9.6ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

1年以内に立川市のサービスや施設で利用したもの

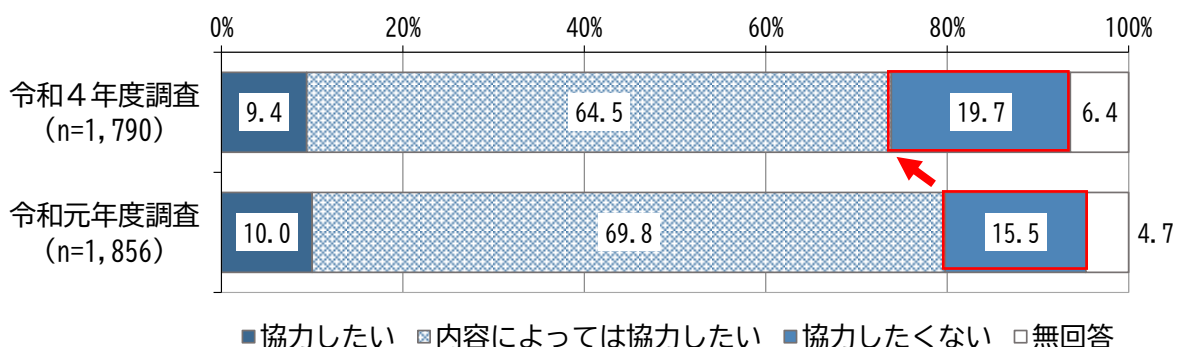


※ 「地域包括支援センターの介護予防教室」は令和4（2022）年度調査からの選択肢

### (6) 見守りボランティアへの協力意向

見守りボランティアへの協力意向について、令和元（2019）年度調査と比較すると、「協力したくない」（19.7％）では、令和元（2019）年度調査（15.5％）より4.2ポイント増加しています。

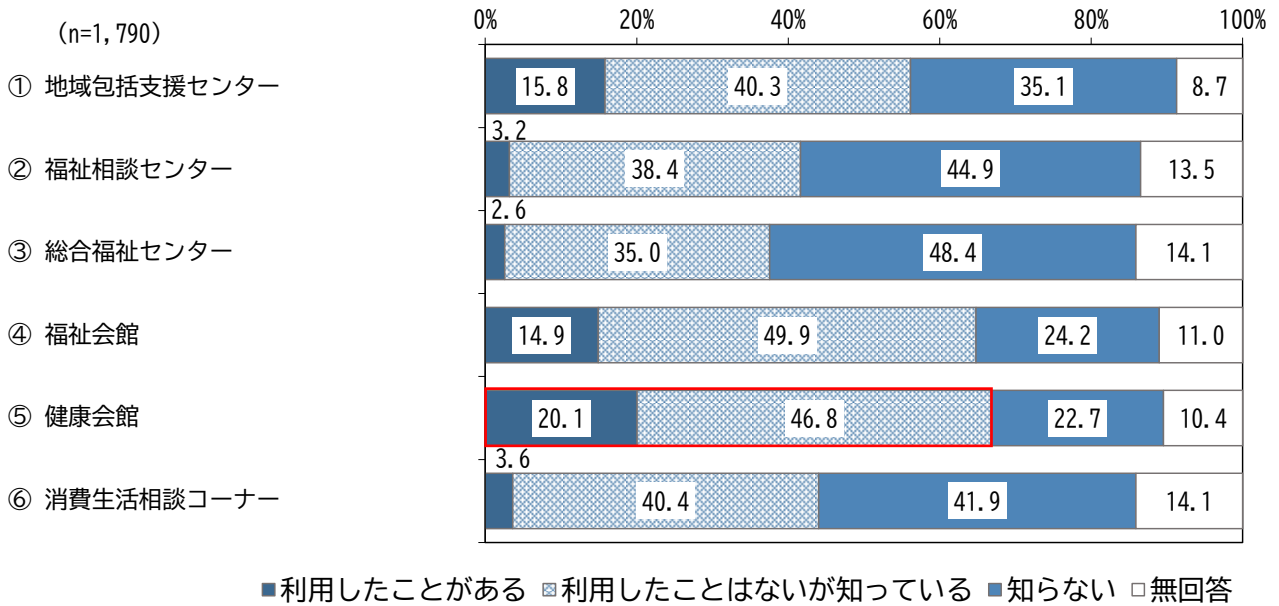
見守りボランティアへの協力意向



### (7) 各種窓口の認知・利用状況

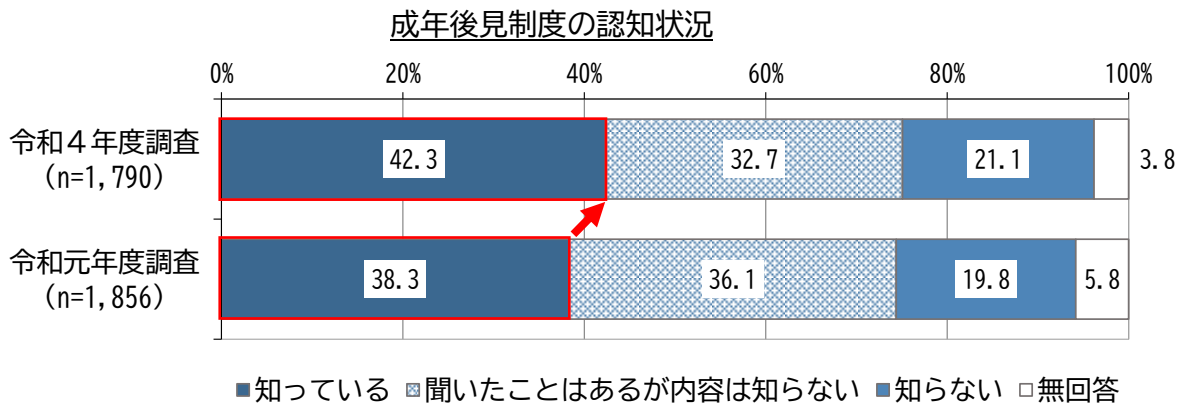
各種窓口の認知・利用状況について、認知度（「利用したことがある」と「利用したことはないが知っている」の合計）では、「⑤ 健康会館」が66.9%で最も高く、次いで「④ 福社会館」が64.8%、「地域包括支援センター」が56.1%と続いています。

各種窓口の認知・利用状況



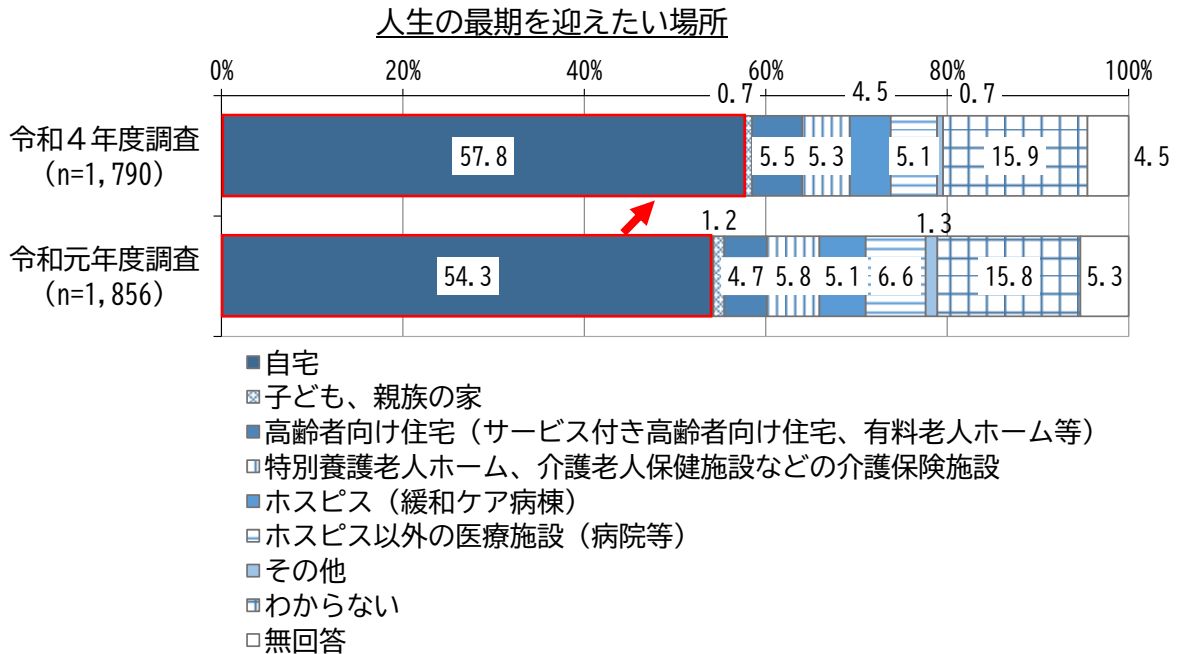
### (8) 成年後見制度\*の認知状況

成年後見制度の認知状況については、「知っている」が42.3%で最も高く、令和元（2019）年度調査（38.3%）より4.0ポイント増加しています。

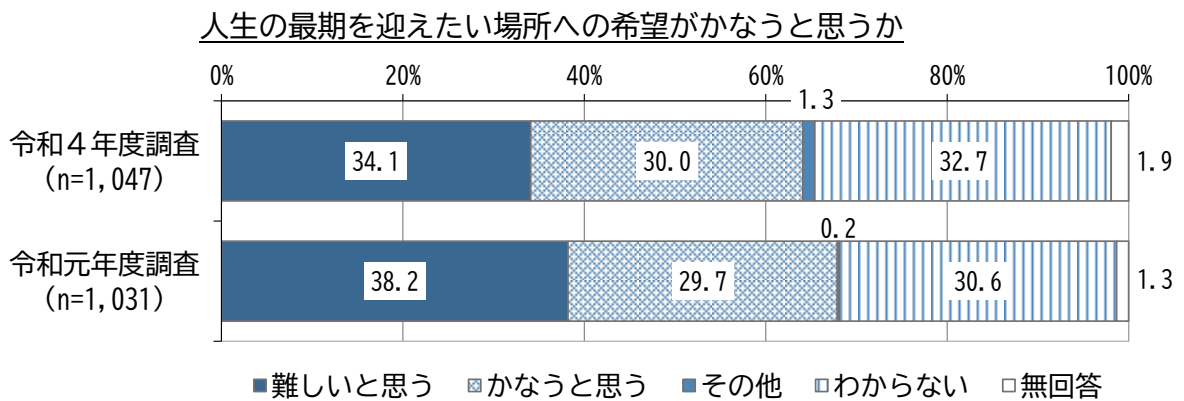


(9) 人生の最期を迎えたい場所

人生の最期を迎えたい場所については、「自宅」が57.8%で最も高く、令和元（2019）年度調査（54.3%）より3.5ポイント増加しています。

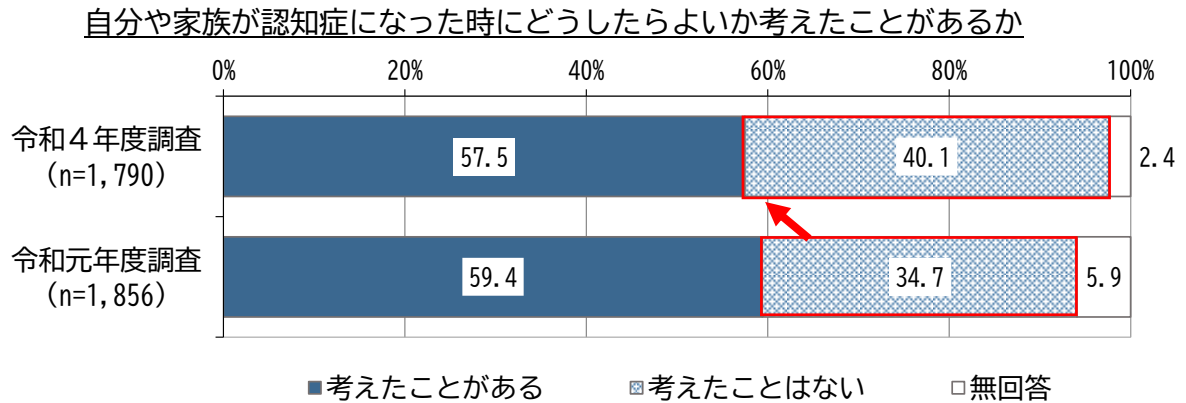


人生の最期を迎えたい場所を「自宅」、「子ども、親族の家」と回答した人が、その希望がかなうと思うかについて、「難しいと思う」が34.1%で最も高く、次いで「わからない」が32.7%、「かなうと思う」が30.0%と続いています。

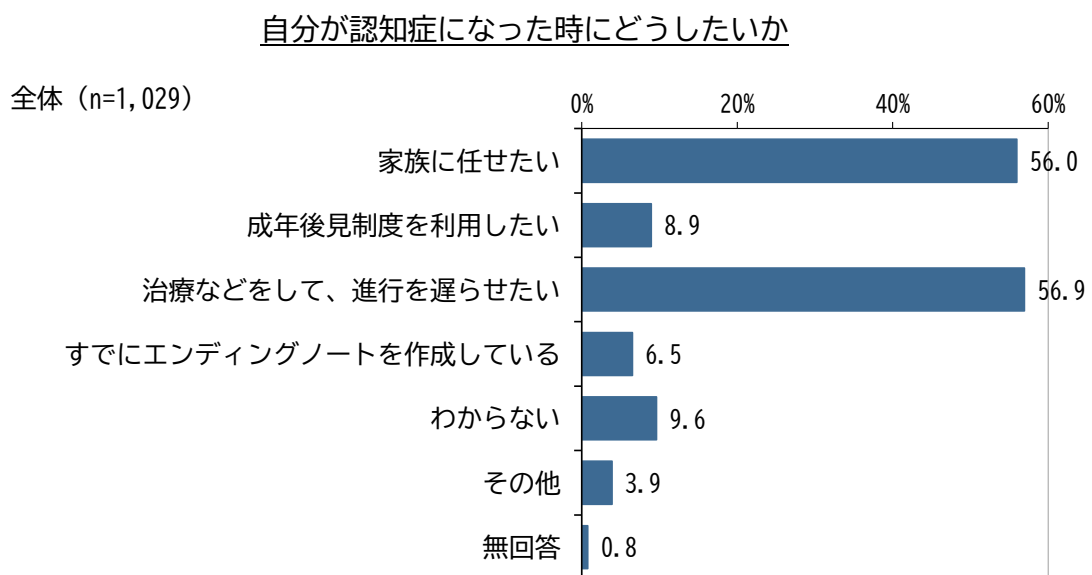


(10) 自分や家族が認知症になった時にどうしたらよいか考えたことがあるか

自分や家族が認知症になった時にどうしたらよいか考えたことがあるかについては、「考えたことはない」が40.1%で、令和元（2019）年度調査（34.7%）より5.4ポイント増加しています。

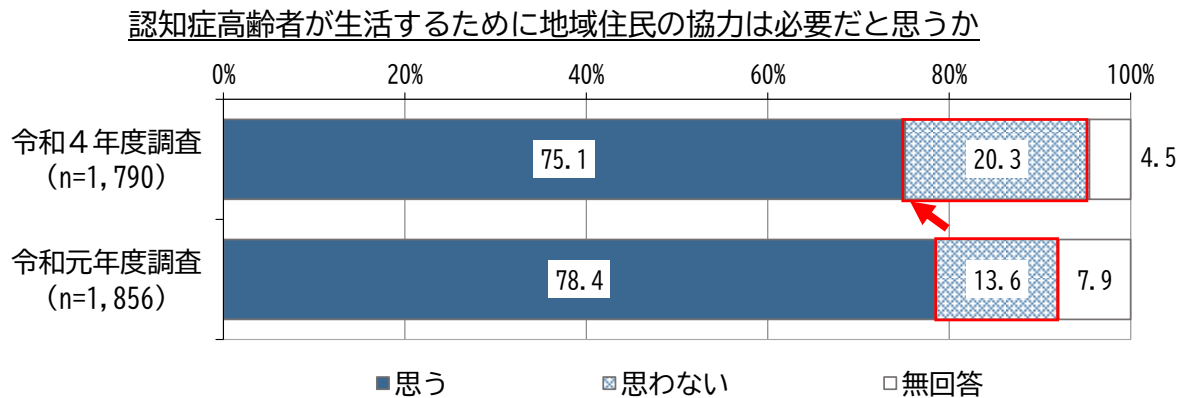


自分や家族が認知症になった時にどうしたらよいか考えたことがある人について、自分が認知症になった時にどうしたいかについては、「治療などをして、進行を遅らせたい」が56.9%で最も高く、次いで「家族に任せたい」が56.0%、「わからない」が9.6%と続いています。



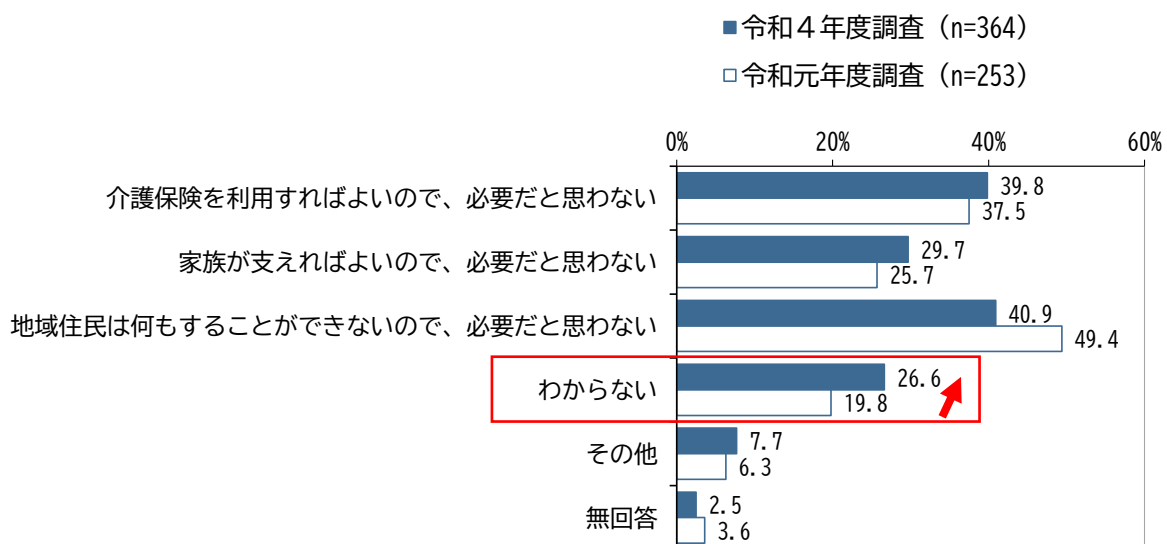
(11) 認知症高齢者が生活するために地域住民の協力は必要だと思うか

認知症高齢者が生活するために地域住民の協力は必要だと思うかについて、令和元（2019）年度調査と比較すると、「思わない」（20.3％）では、令和元（2019）年度調査（13.6％）より6.7ポイント増加しています。



認知症高齢者が生活するために地域住民の協力が必要だと思わない理由については、「地域住民は何もすることができないので、必要だと思わない」が40.9％で最も高く、次いで「介護保険を利用すればよいので、必要だと思わない」が39.8％、「家族が支えればよいので、必要だと思わない」が29.7％と続いており、令和元（2019）年度調査と比較すると、「わからない」（26.6％）では、令和元（2019）年度調査（19.8％）より6.8ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

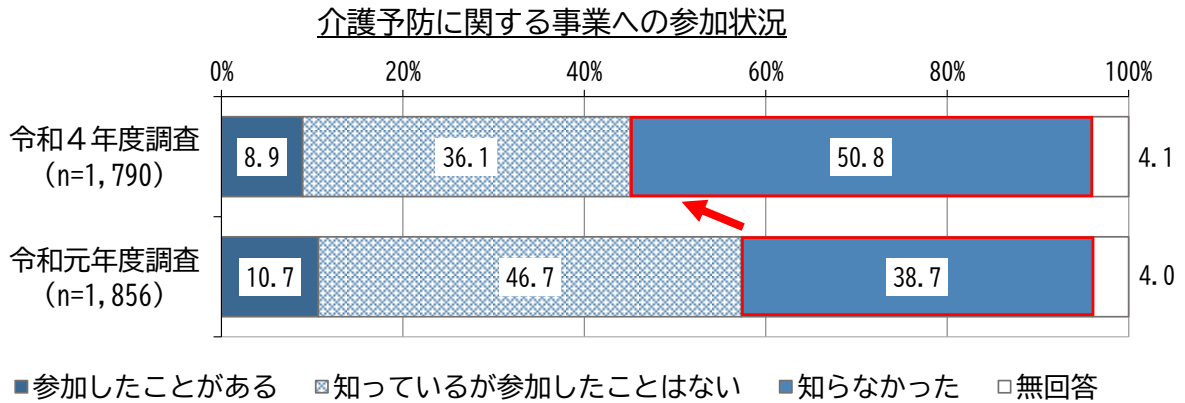
認知症高齢者が生活するために地域住民の協力は必要だと思わない理由





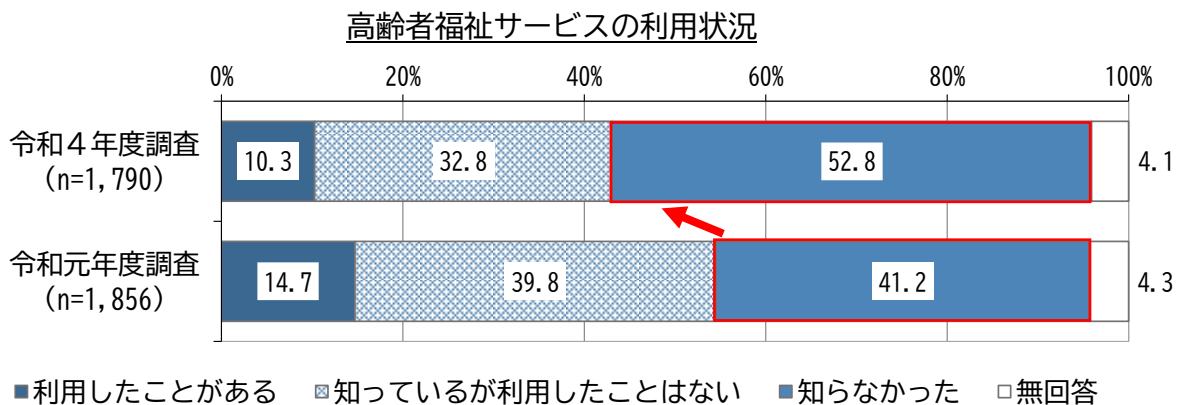
(12) 介護予防に関する事業への参加状況

介護予防に関する事業への参加状況について、令和元（2019）年度調査と比較すると、「知らなかった」（50.8％）では、令和元（2019）年度調査（38.7％）より12.1ポイント増加しています。



(13) 高齢者福祉サービスの利用状況

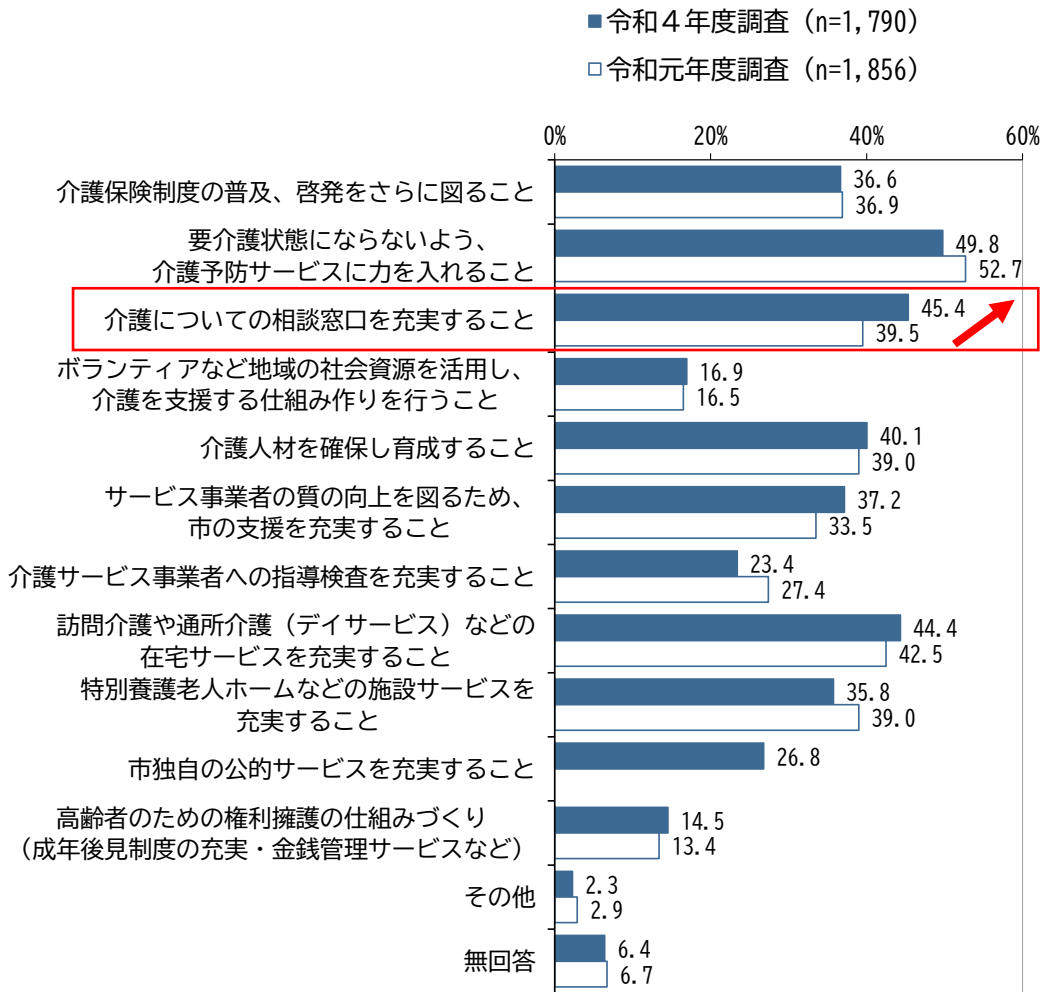
高齢者福祉サービスの利用状況について、令和元（2019）年度調査と比較すると、「知らなかった」（52.8％）では、令和元（2019）年度調査（41.2％）より11.6ポイント増加しています。



(14) 介護保険制度をよりよくするため市に期待すること

介護保険制度をよりよくするため市に期待することについて、令和元（2019）年度調査と比較できる項目で比較すると、「介護についての相談窓口を充実すること」（45.4％）では、令和元（2019）年度調査（39.5％）より 5.9 ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

介護保険制度をよりよくするため市に期待すること

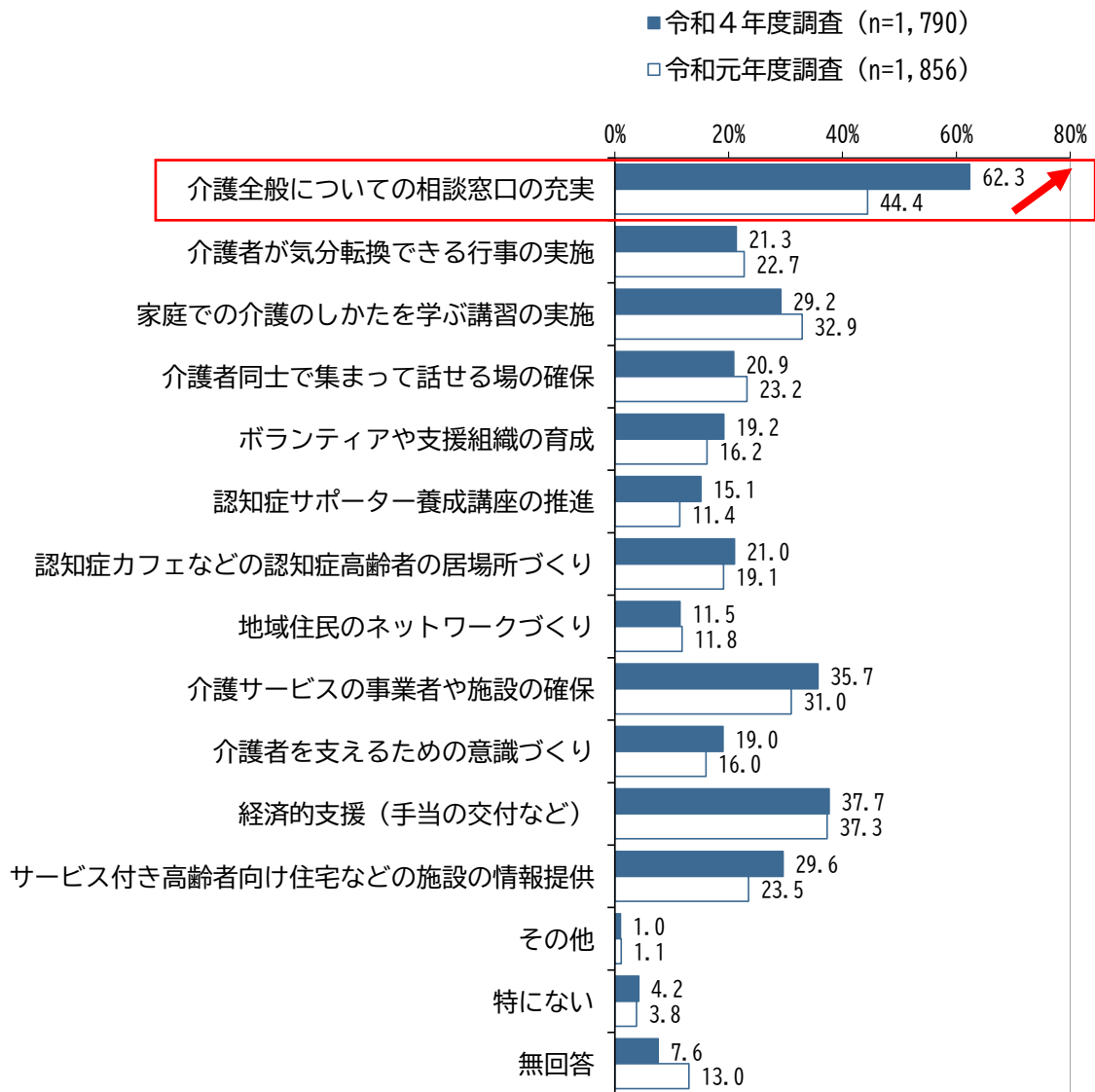


※ 「市独自の公的サービスを充実すること」は令和4（2022）調査からの選択肢

(15) 介護をする家族への支援として市が取り組むべきこと

介護をする家族への支援として市が取り組むべきことについては、「介護全般についての相談窓口の充実」が62.3%で最も高く、令和元（2019）年度調査と比較すると、令和元（2019）年度調査（44.4%）より17.9ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

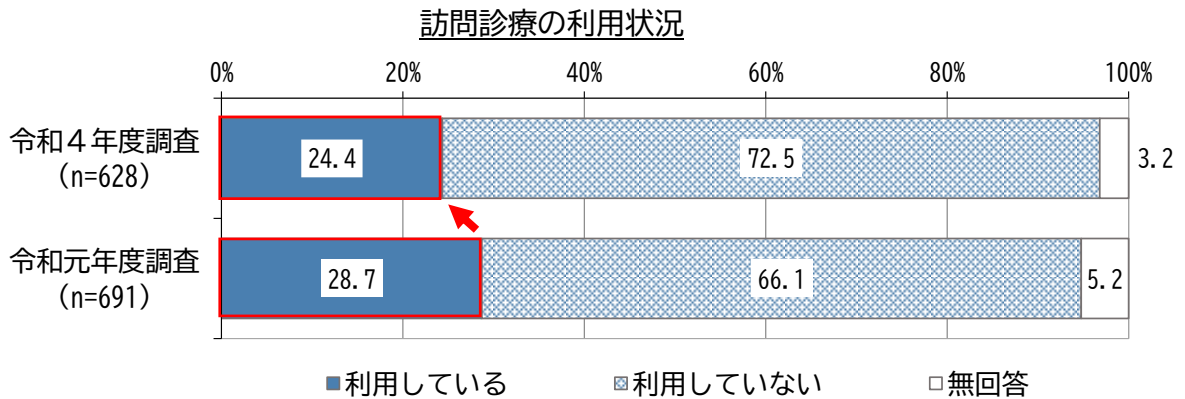
介護をする家族への支援として市が取り組むべきこと



## 2 在宅介護実態調査

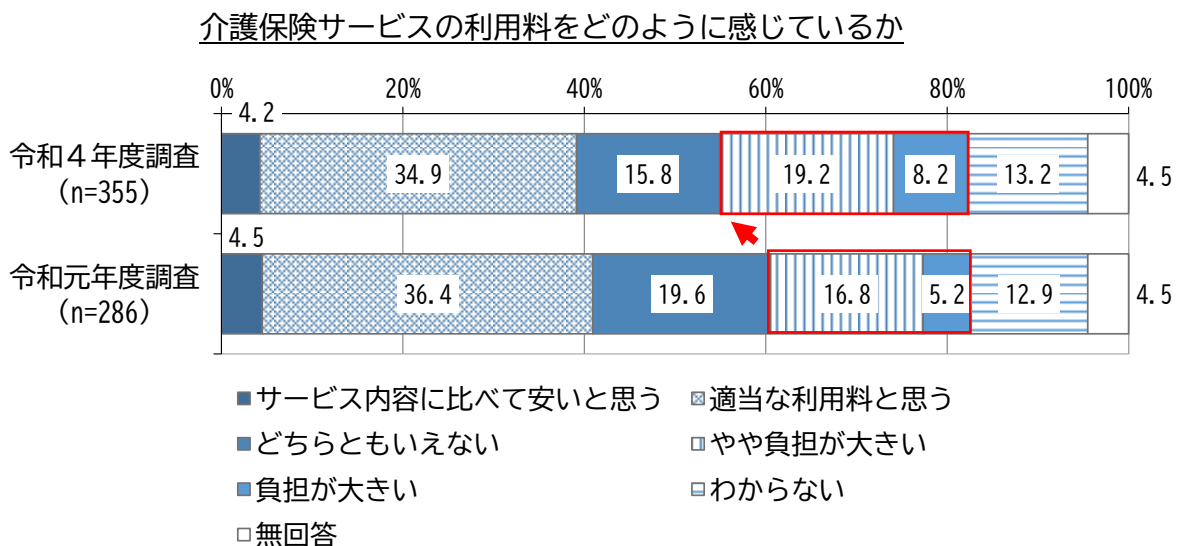
### (1) 訪問診療の利用状況

訪問診療の利用状況について、令和元（2019）年度調査と比較すると、「利用している」（24.4％）では、令和元（2019）年度調査（28.7％）より4.3ポイント減少しています。



### (2) 介護保険サービスの利用料をどのように感じているか

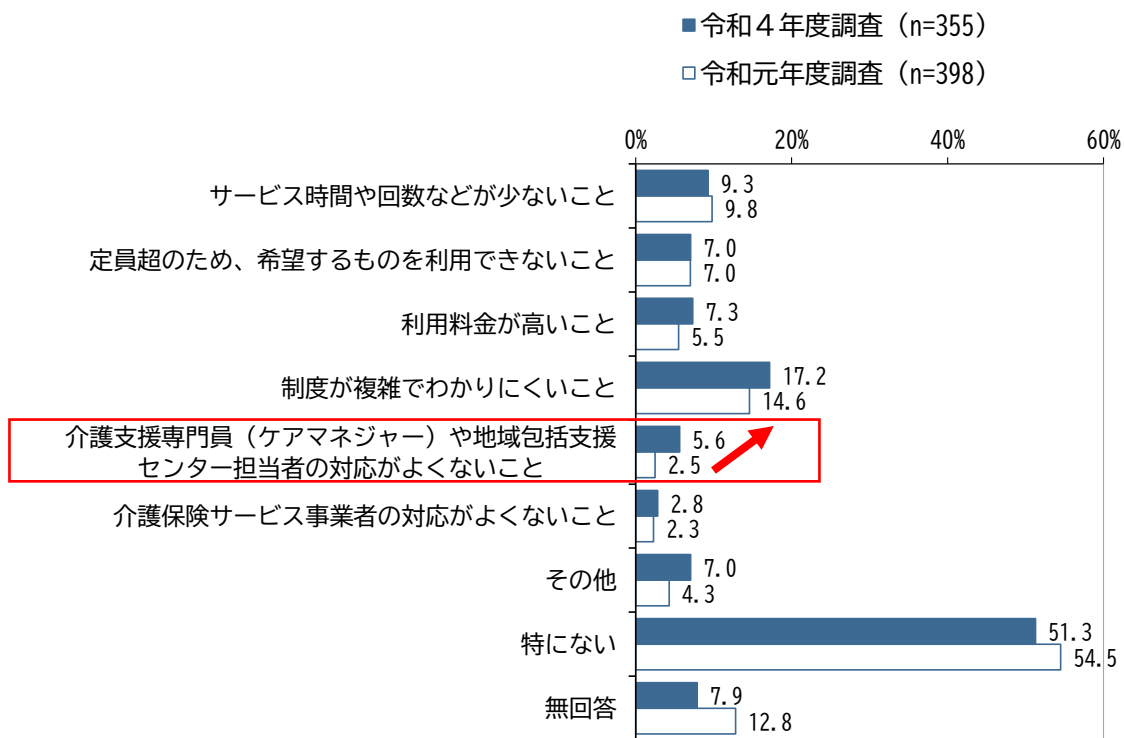
介護保険サービスの利用料をどのように感じているかについて、令和元（2019）年度調査と比較すると、『負担が大きい』（「やや負担が大きい」と「負担が大きい」の合計）（27.4％）では、令和元（2019）年度調査（22.0％）より5.4ポイント増加しています。



### (3) 介護保険サービスを利用する上で困っていること

介護保険サービスを利用する上で困っていることについて、令和元（2019）年度調査と比較すると、「介護支援専門員\*（ケアマネジャー）や地域包括支援センター担当者の対応がよくないこと」（5.6%）では、令和元（2019）年度調査（2.5%）より3.1ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

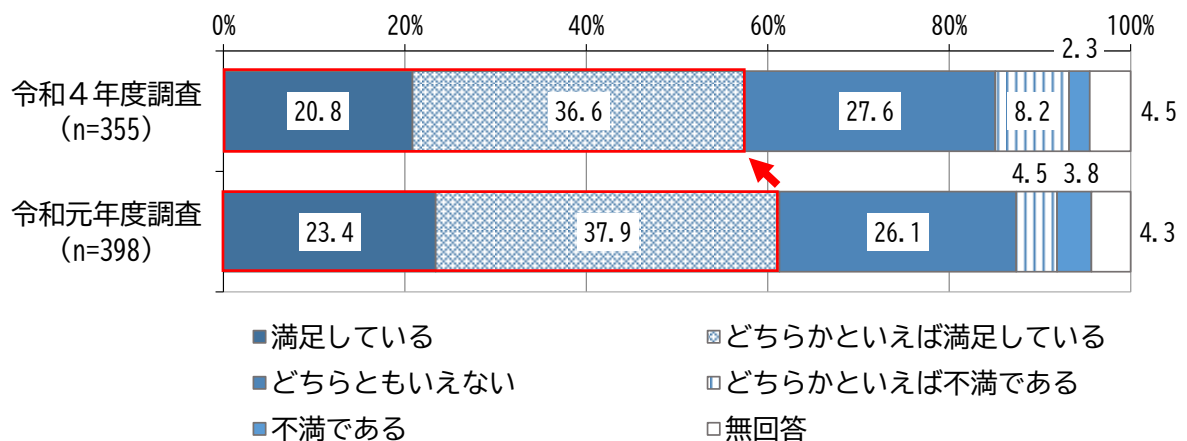
#### 介護保険サービスを利用する上で困っていること



### (4) 現在の介護保険サービスに満足しているか

現在の介護保険サービスに満足しているかについて、令和元（2019）年度調査と比較すると、『満足している』（「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計）（57.4%）では、令和元（2019）年度調査（61.3%）より3.9ポイント減少しています。

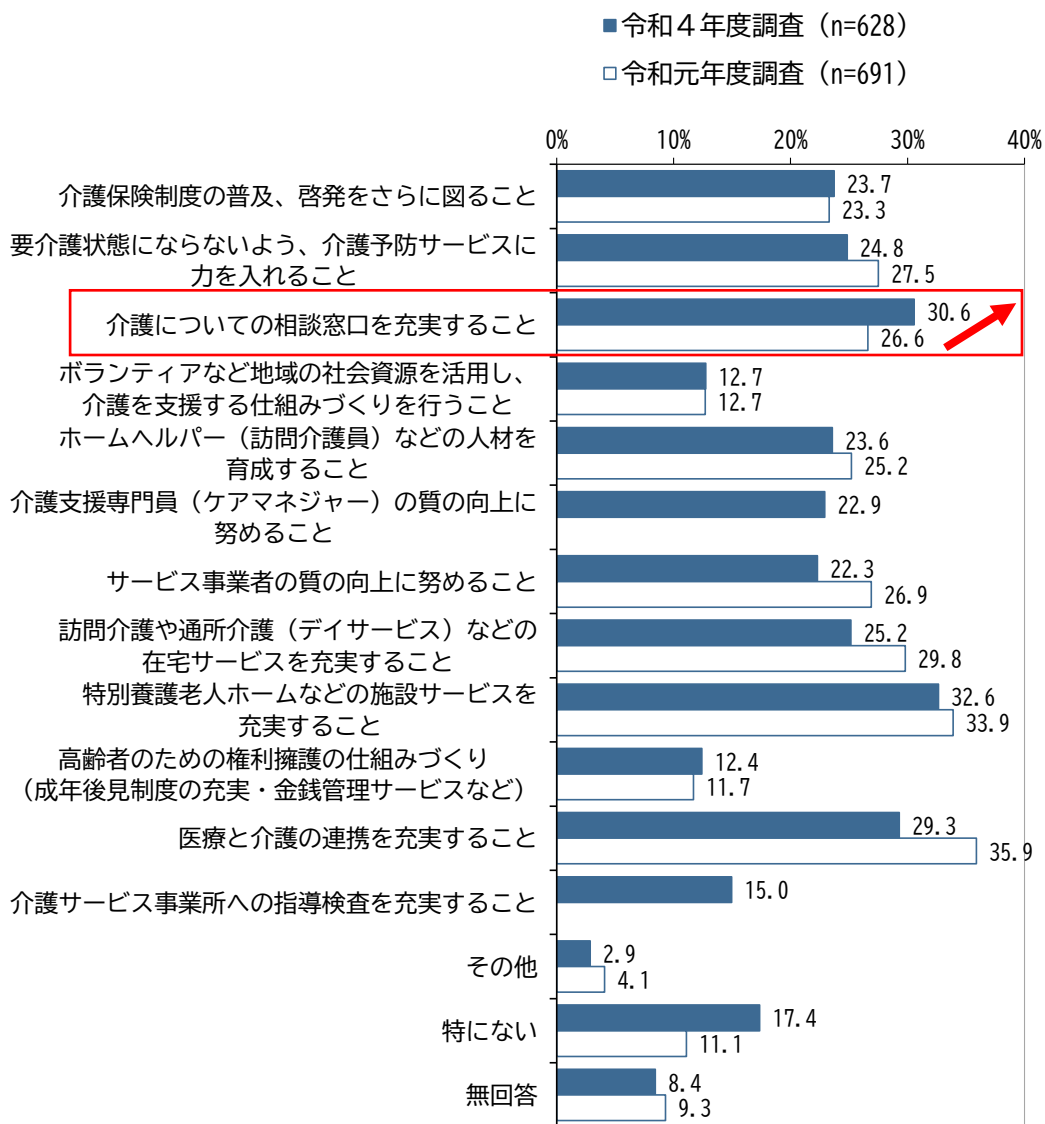
#### 現在の介護保険サービスに満足しているか



(5) 介護保険制度をよりよくするために立川市に期待すること

介護保険制度をよりよくするために立川市に期待することについては、令和元（2019）年度調査と比較できる項目で比較すると、「介護についての相談窓口を充実すること」（30.6％）では、令和元（2019）年度調査（26.6％）より4.0ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

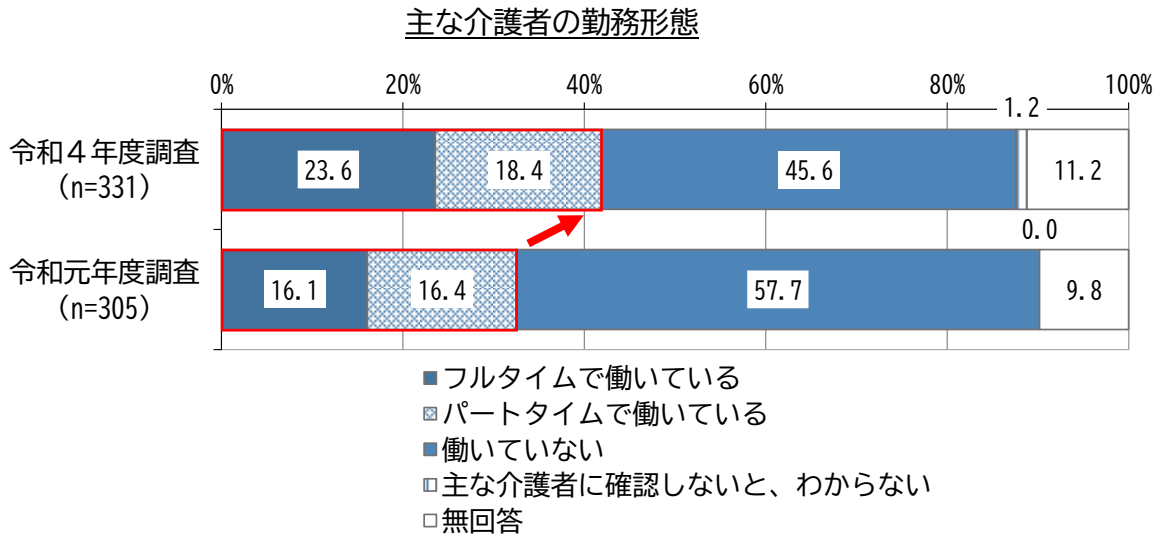
介護保険制度をよりよくするために立川市に期待すること



※ 「介護支援専門員（ケアマネジャー）の質の向上に努めること」、「介護サービス事業所への指導検査を充実すること」は令和4（2022）年度調査からの選択肢

## (6) 主な介護者の勤務形態

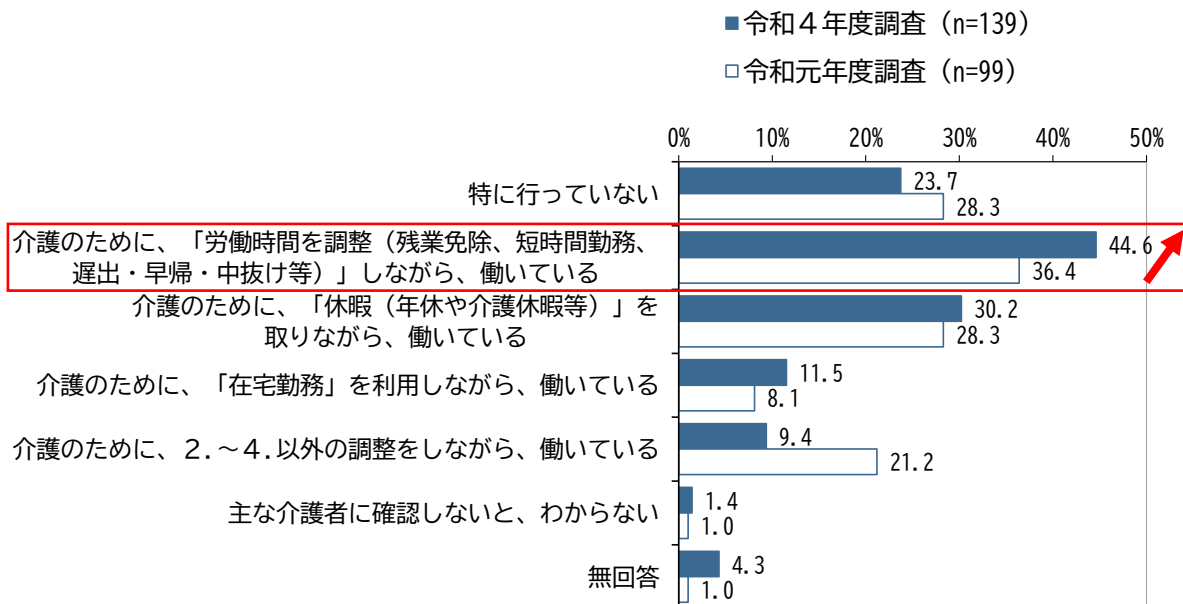
主な介護者の勤務形態について、令和元(2019)年度調査と比較すると、「働いていない」(45.6%)では、令和元(2019)年度調査(57.7%)より12.1ポイント減少しており、『働いている』(「フルタイムで働いている」と「パートタイムで働いている」の合計)が増加しています。



## (7) 介護をするにあたって働き方の調整等をしているか

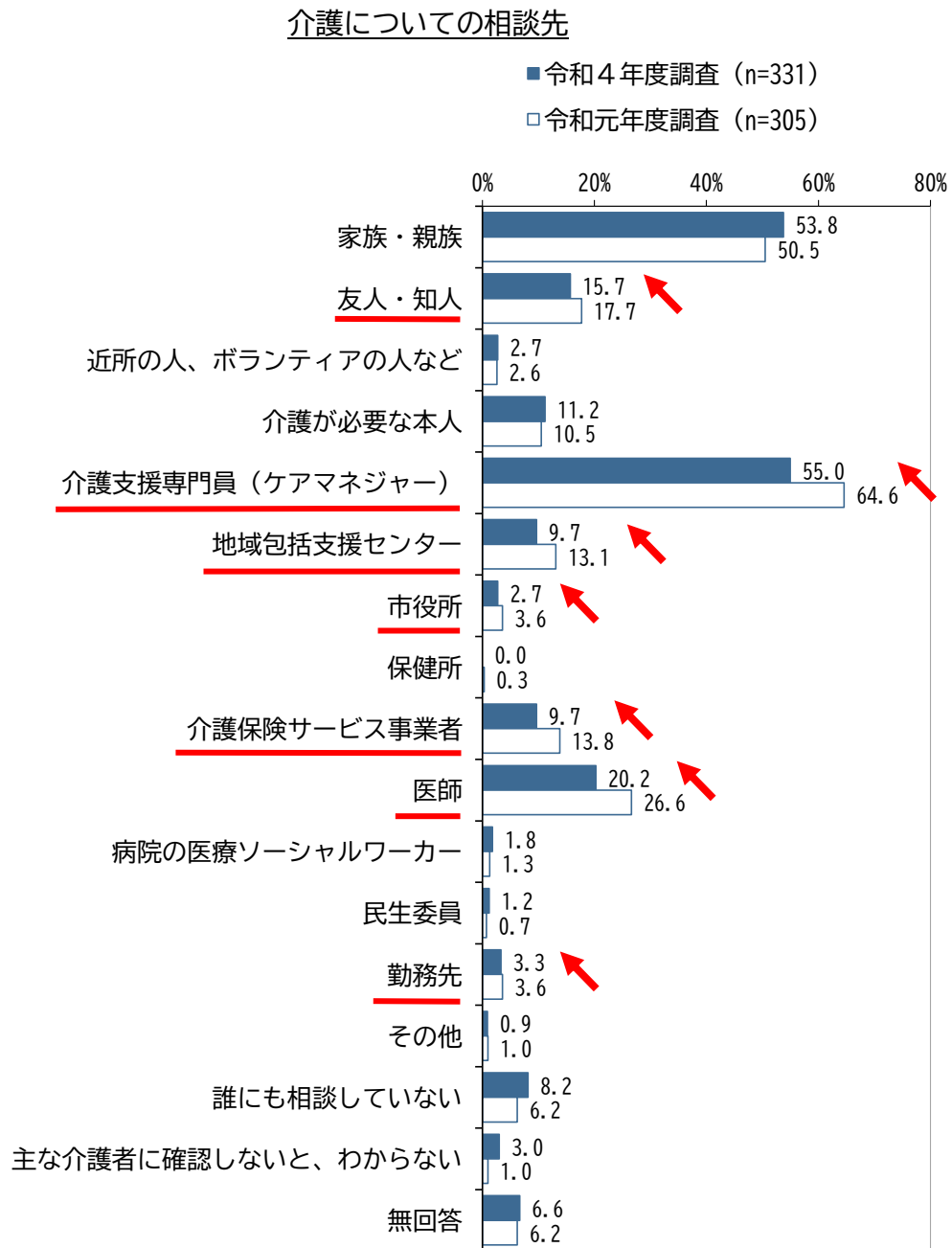
介護をするにあたって働き方の調整等をしているかについて、令和元(2019)年度調査と比較すると、「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」(44.6%)では、令和元(2019)年度調査(36.4%)より8.2ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

### 介護をするにあたって働き方の調整等をしているか



## (8) 介護者の介護についての相談先

介護者の介護についての相談先について、令和元（2019）年度調査と比較すると、「介護支援専門員（ケアマネジャー）」（55.0％）では、令和元（2019）年度調査（64.6％）より9.6ポイント減少し、最も減少した項目となっています。

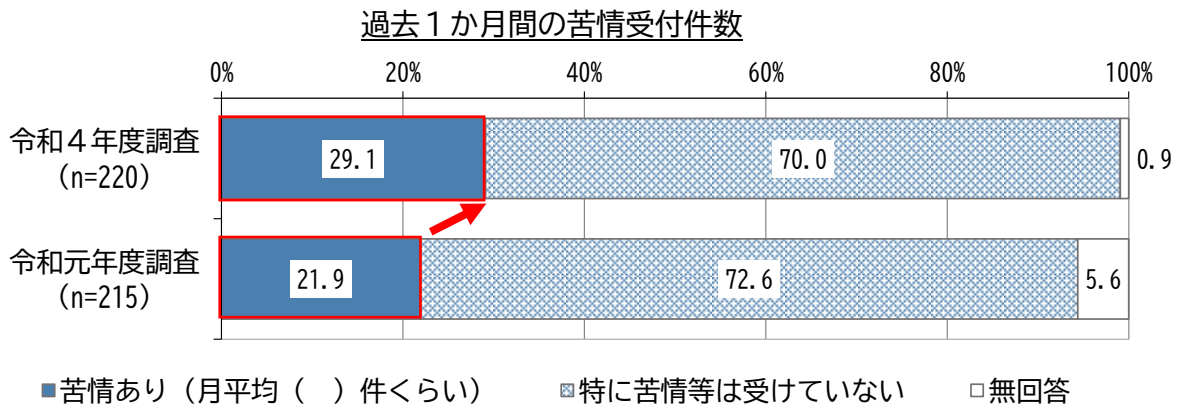




### 3 介護保険事業所向けアンケート調査

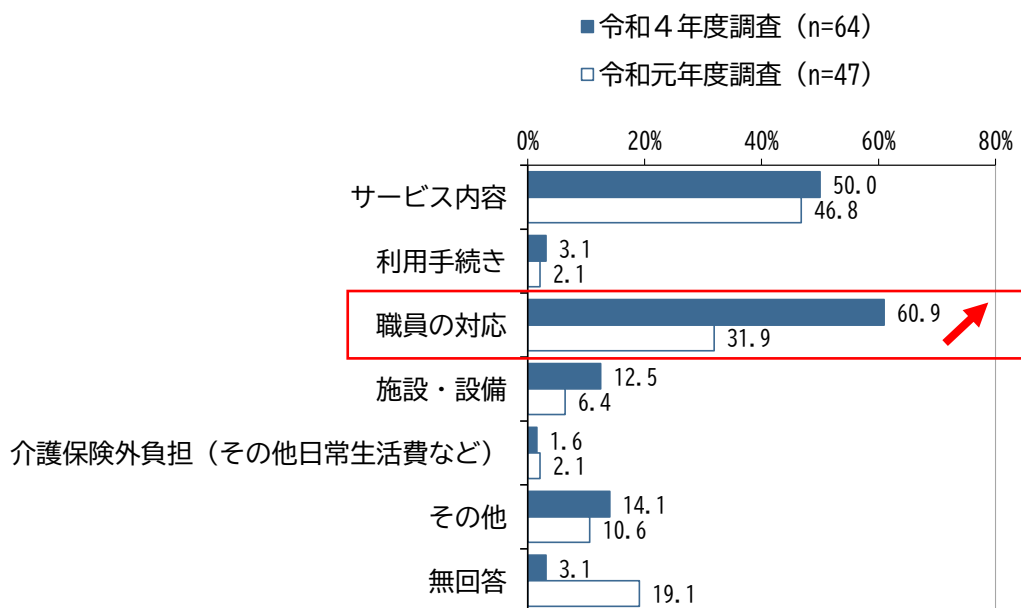
#### (1) 過去1か月間の苦情受付件数

過去1か月間の苦情受付件数については、「苦情あり（月平均（ ）件くらい）」が29.1%、「特に苦情等は受けていない」が70.0%となっており、「苦情あり（月平均（ ）件くらい）」では、令和元（2019）年度調査（21.9%）より7.2ポイント増加し、苦情を受けた事業所の平均苦情受付件数は1.2件となっています。



苦情内容については、「職員の対応」が60.9%で最も高く、令和元（2019）年度調査と比較すると、令和元（2019）年度調査（31.9%）より29.0ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

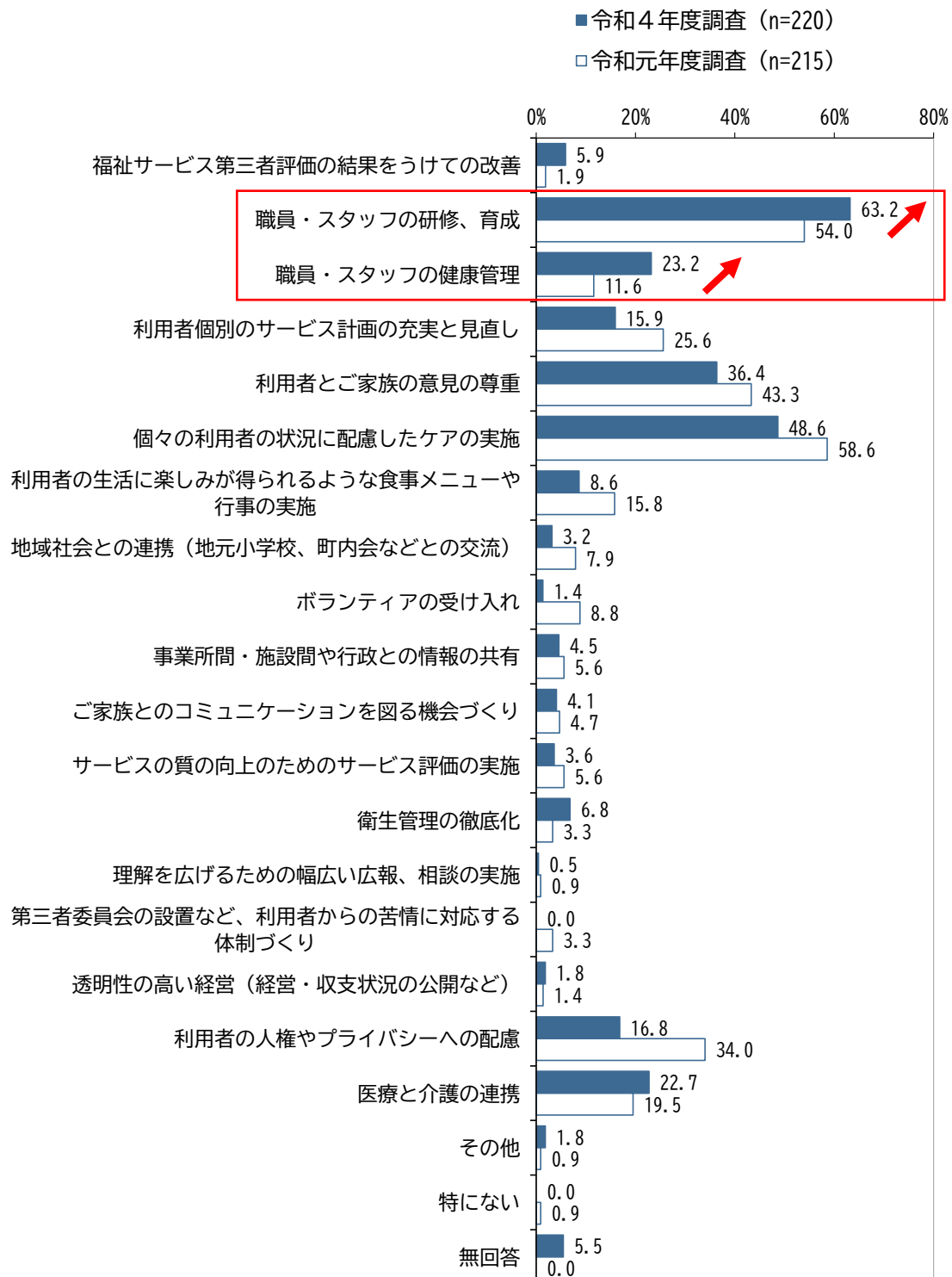
#### 苦情内容



## (2) サービスの質の向上のために力を入れている取り組み

サービスの質の向上のために力を入れている取り組みについては、「職員・スタッフの研修、育成」が63.2%で最も高く、令和元（2019）年度調査と比較すると、「職員・スタッフの健康管理」（23.2%）では、令和元（2019）年度調査（11.6%）より11.6ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

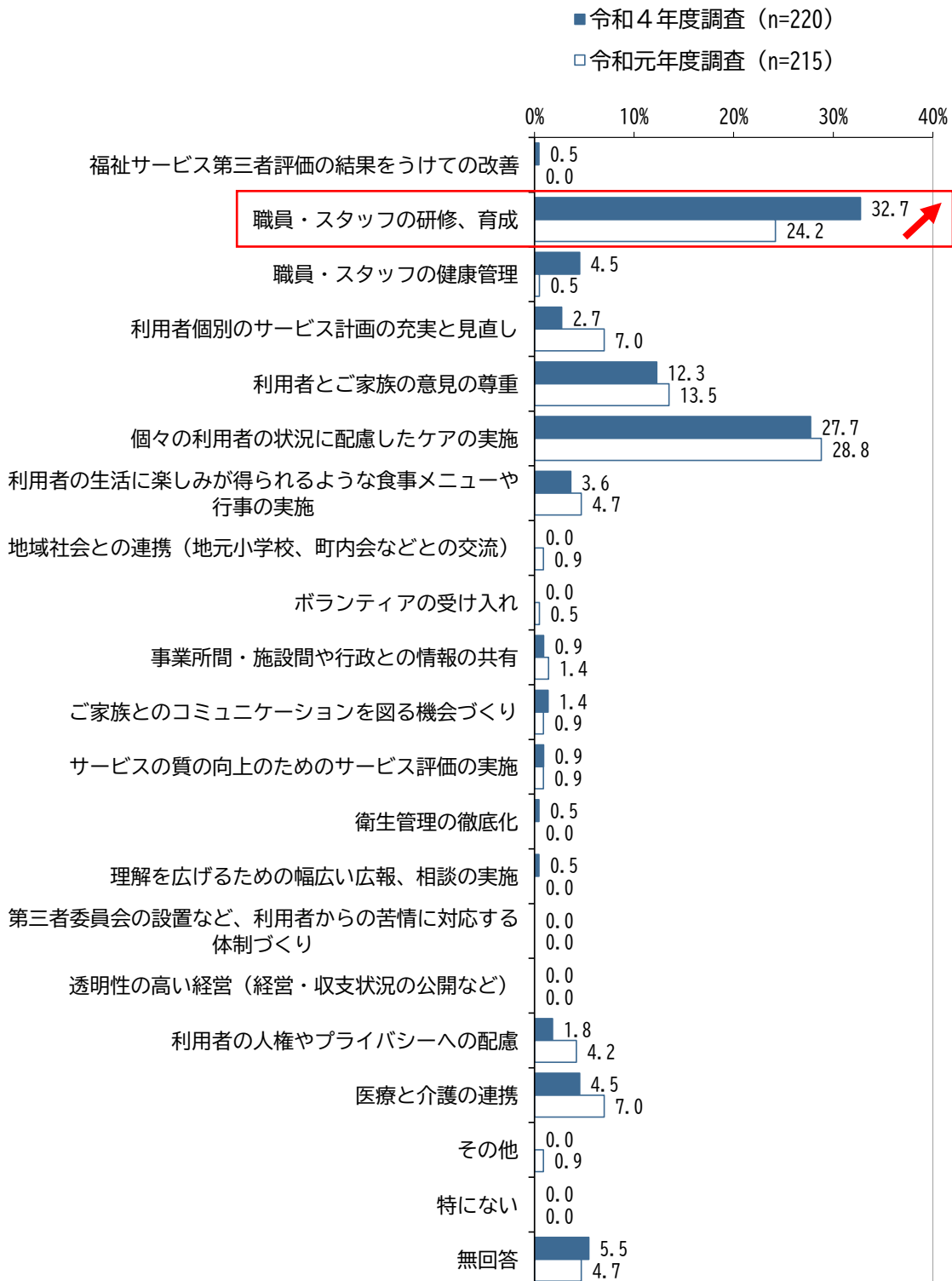
### サービスの質の向上のために力を入れている取り組み



### (3) サービスの質の向上のために最も力を入れている取り組み

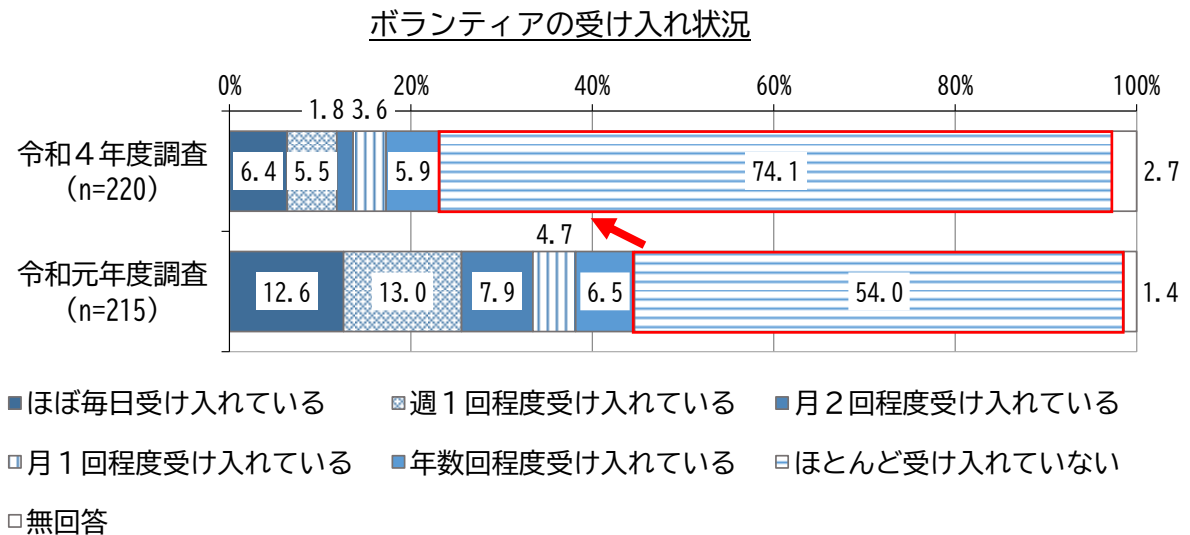
サービスの質の向上のために最も力を入れている取り組みについては、「職員・スタッフの研修、育成」が32.7%で最も高く、令和元（2019）年度調査（24.2%）より8.5ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

#### サービスの質の向上のために最も力を入れている取り組み



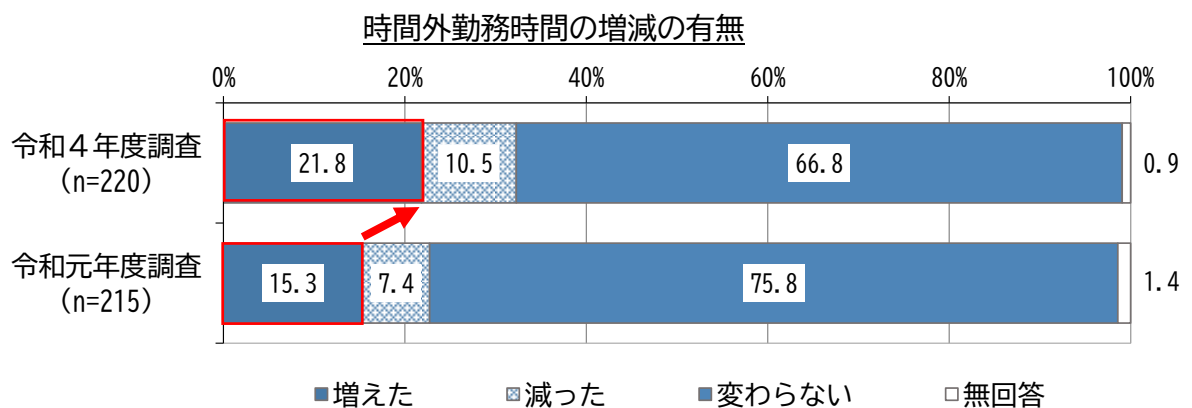
#### (4) ボランティアの受け入れ状況

ボランティアの受け入れ状況について、令和元（2019）年度調査と比較すると、「ほとんど受け入れていない」（74.1％）では、令和元（2019）年度調査（54.0％）より 20.1 ポイント増加しています。



#### (5) 時間外勤務時間の増減の有無

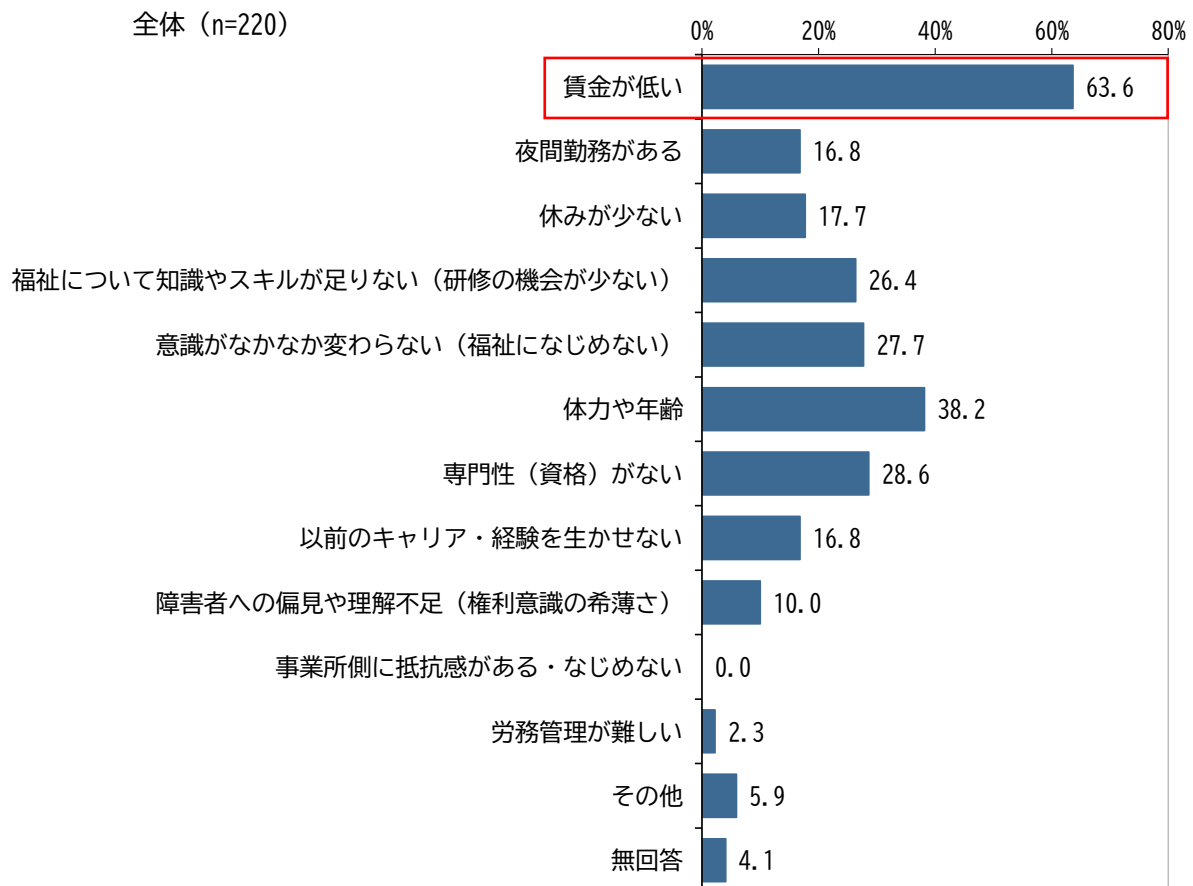
時間外勤務時間の増減の有無について、令和元（2019）年度調査と比較すると、「増えた」（21.8％）では、令和元（2019）年度調査（15.3％）より 6.5 ポイント増加しています。



## (6) 「転職者」を雇用する際の壁（支障）

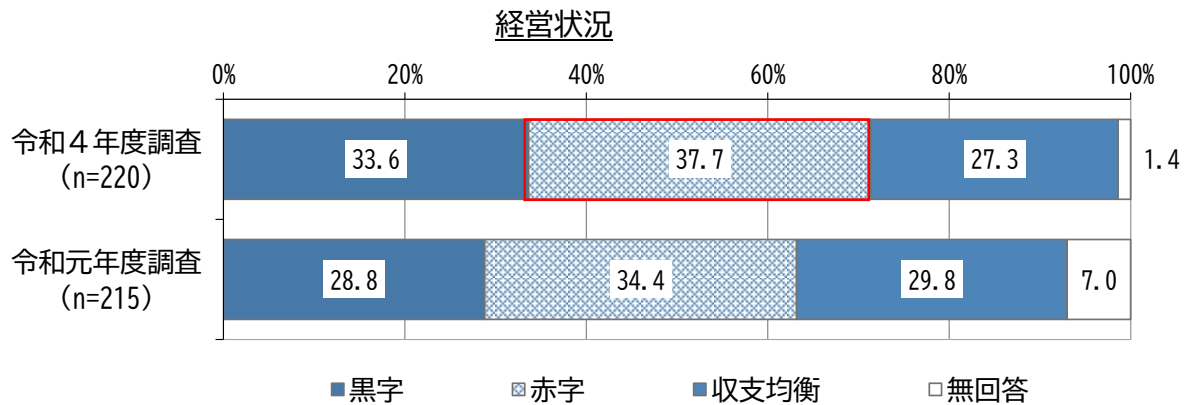
「転職者」を雇用する際の壁（支障）については、「賃金が低い」が63.6%で最も高く、次いで「体力や年齢」が38.2%、「専門性（資格）がない」が28.6%と続いています。

### 「転職者」を雇用する際の壁（支障）

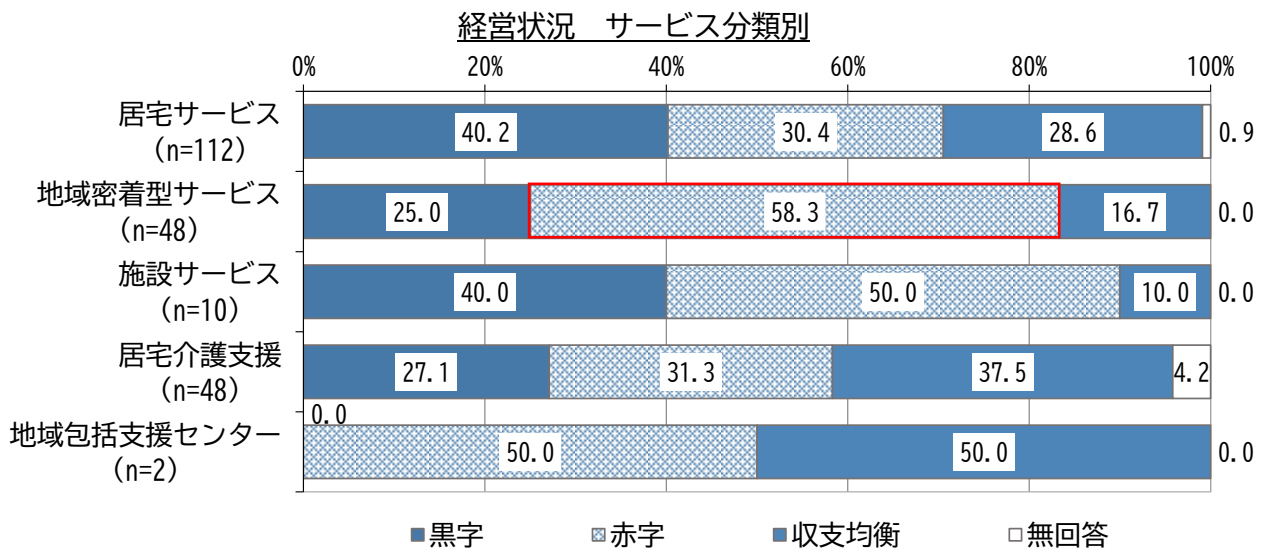


### (7) 経営状況

経営状況については、「赤字」が37.7%で最も高く、次いで「黒字」が33.6%、「収支均衡」が27.3%となっています。令和元(2019)年度調査と比較すると、「黒字」(28.8%)は4.8ポイント、「赤字」(34.4%)は3.3ポイント、それぞれ増加しています。



サービス分類でみると、「赤字」では、地域密着型サービス\*が58.3%で最も高くなっています。

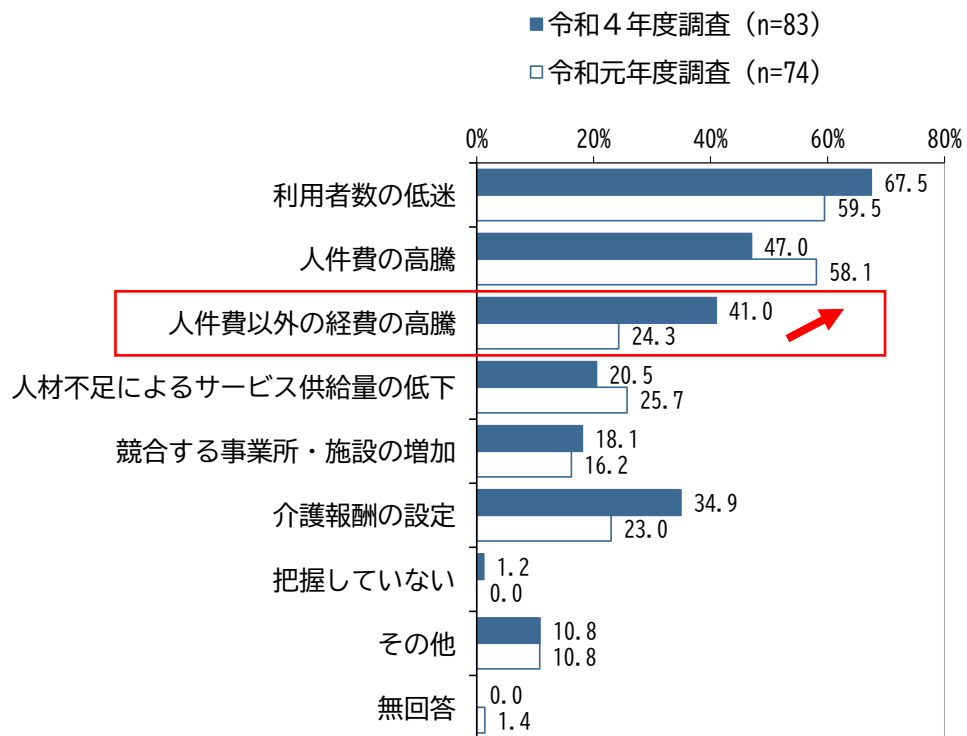


## (8) 赤字の主な理由

赤字の主な理由については、「利用者数の低迷」が67.5%で最も高く、次いで「人件費の高騰」が47.0%、「人件費以外の経費の高騰」が41.0%と続いています。

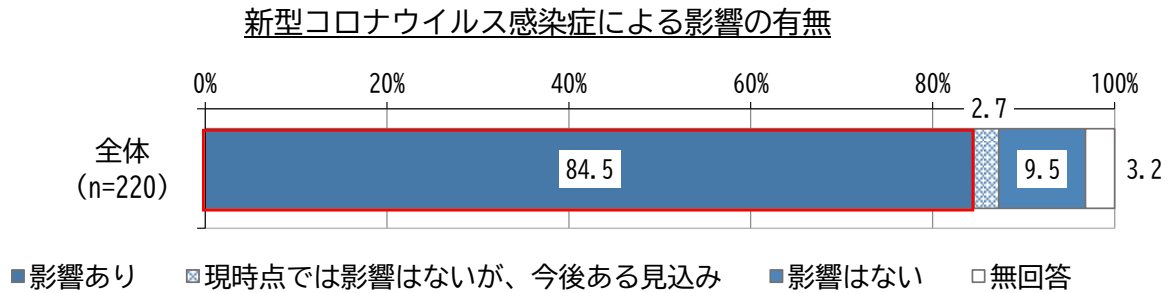
令和元(2019)年度調査と比較すると、「人件費以外の経費の高騰」(41.0%)では、令和元(2019)年度調査(24.3%)より16.7ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

### 赤字の主な理由

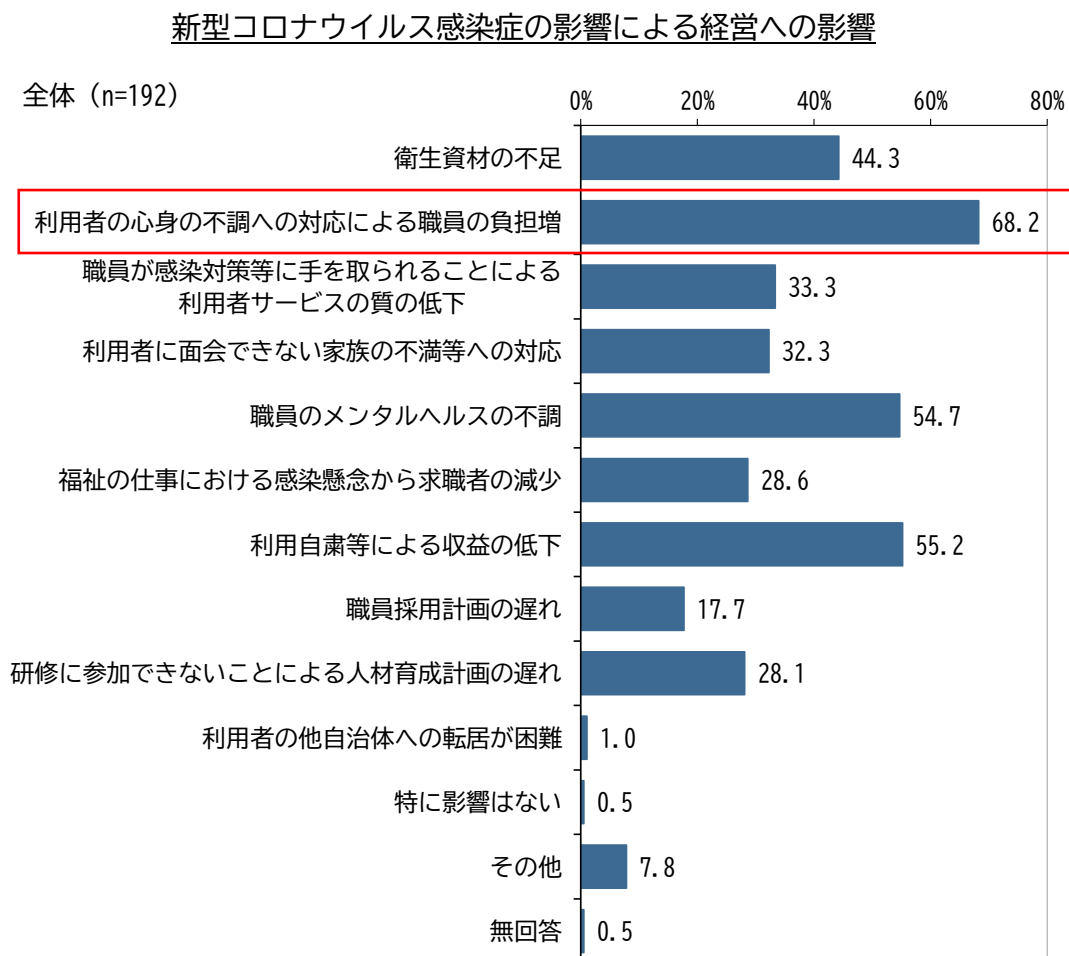


### (9) 新型コロナウイルス感染症による影響

新型コロナウイルス感染症による影響の有無については、「影響あり」が84.5%で最も高くなっています。



新型コロナウイルス感染症の影響による経営への影響については、「利用者の心身の不調への対応による職員の負担増」が68.2%で最も高く、次いで「利用自粛等による収益の低下」が55.2%、「職員のメンタルヘルスの不調」が54.7%と続いています。

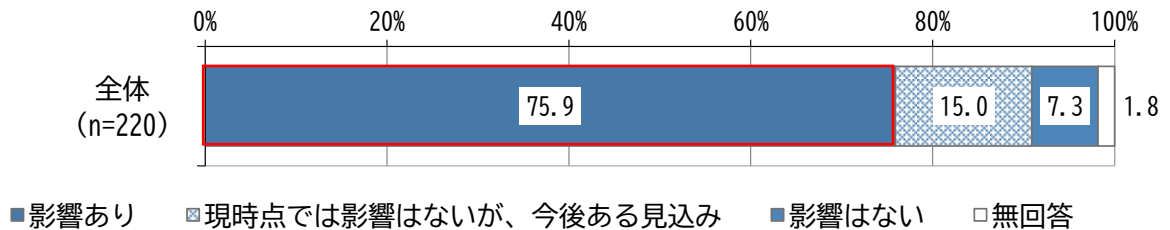




(10) 物価高騰による影響

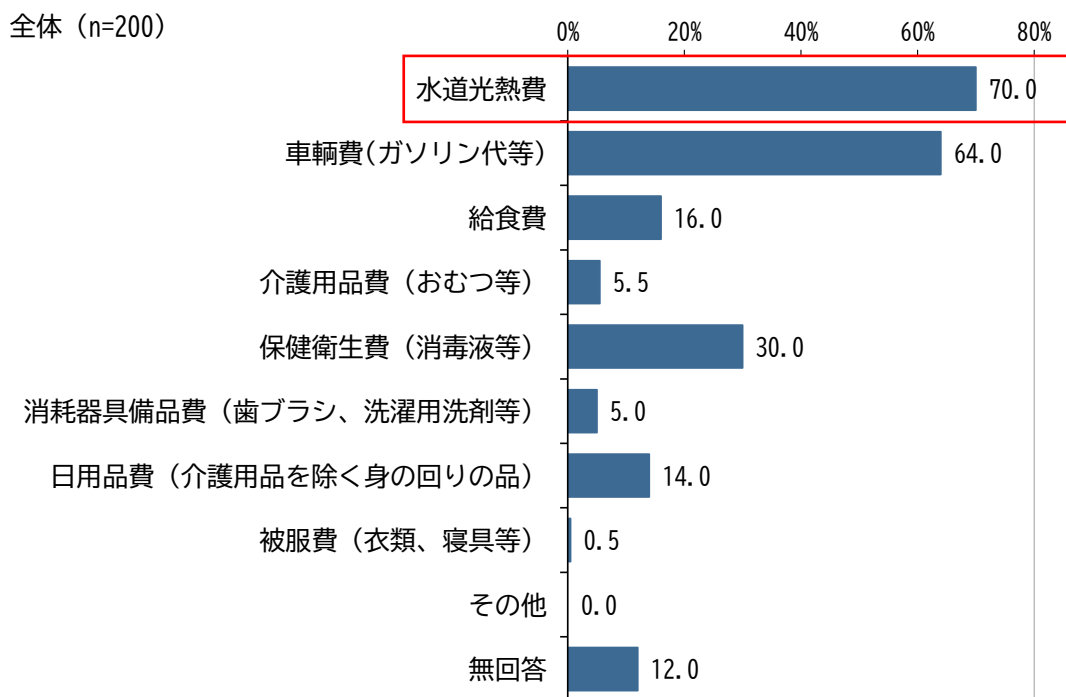
物価高騰による影響の有無については、「影響あり」が75.9%で最も高くなっています。

物価高騰による影響の有無



物価高騰による影響でサービス活動費用増加が見込まれる勘定項目については、「水道光熱費」が70.0%で最も高く、次いで「車両費(ガソリン代等)」が64.0%、「保健衛生費(消毒液等)」が30.0%と続いています。

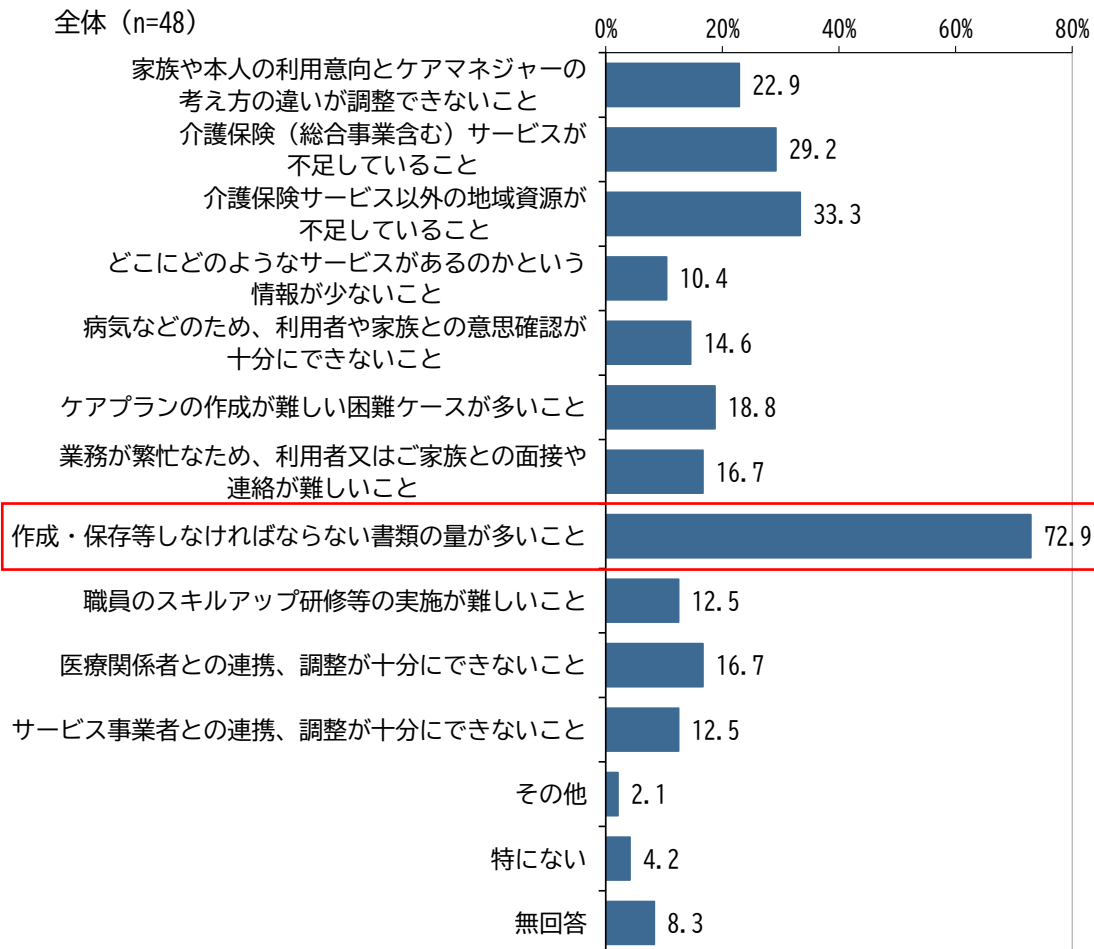
物価高騰による影響でサービス活動費用増加が見込まれる勘定項目



### (11) ケアプラン\*作成時の問題・課題

ケアプラン作成時の問題・課題については、「作成・保存等しなければならない書類の量が多いこと」が72.9%で最も高く、次いで「介護保険サービス以外の地域資源が不足していること」が33.3%、「介護保険（総合事業含む）サービスが不足していること」が29.2%と続いています。

#### ケアプラン作成時の問題・課題



(12) 介護保険サービスを実施する上での課題や改善が必要なこと

介護保険サービスを実施する上での課題や改善が必要なことについては、「介護職員等の人員の確保が難しいこと」が79.5%で最も高く、次いで「作成・保存等しなければならない書類の量が多いこと」が61.4%、「介護報酬\*が実態と合わないこと」が58.2%と続いています。

令和元（2019）年度調査と比較すると、「経営経費・活動資金が不足していること」（33.2%）では、令和元（2019）年度調査（21.9%）より11.3ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

介護保険サービスを実施する上での課題や改善が必要なこと

